

## 令和2年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	政策推進部
部(局)長	市川 信行
総合政策監	安田 善昭(行財政健全化担当)
危機管理監	小林 聡(危機管理担当)

### 【基本姿勢】

政策推進部では、市の政策をまとめ、実行するための施策についての企画・調整をはじめ、市民からの情報を受け止め、市民への情報発信を行うなど、市民との情報交流、市を動かすための職員に関する人事管理等を行っています。

全国的に少子高齢化による人口減少や地方経済の衰退が進む中で今後もにぎわいや活力ある市としてあり続けるために、困難を極める財政面の健全化や多様化する市民ニーズに応えられる施策に取組み、市政の情報を多様な広報媒体で積極的に発信することで、市民と協働した行政運営に努めてまいります。

危機管理につきましては、地域自主防災組織の活動を通して、逃げ遅れることの無いよう、的確な避難行動の取組や、自助・共助の必要性を啓発するとともに、避難所環境の充実に取り組んでまいります。

また、地域防災の要である消防団の災害対応力の向上を図り、柏原羽曳野藤井寺消防組合と連携して、消防・防災体制を強化します。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	令和2年度 達成状況
1	第5次柏原市総合計画の策定	B
2	行政経営計画(指針)の策定	
3	「広報かしわら」・「柏原市ウェブサイト」をはじめとし、各種SNSなど多様なメディアも活用した、市政情報及びまちの魅力資源の発信・強化	B
4	組織力向上に向けた業務コミュニケーションの促進	B
5	市民の的確な避難行動に関する取組の推進	A
6	国土強靱化地域計画の策定	A
7	消防団の災害対応力の強化	

※ 重点課題2及び重点課題7については、コロナ禍の影響により、事業の進捗に影響が生じ、達成状況の評価はしていません。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 1	第5次柏原市総合計画の策定
--------	---------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	長期的な視点を踏まえ、市民協働によりまちの将来像を検討するとともに、市民が住んでいて良かったと思えるまちづくりをより推進させます。
---------------------	---

活動目標
今後10年間の目標や取組を、市の最上位計画である第5次柏原市総合計画にまとめます。

具体的な取組実績
<p>コロナ禍により4～9月における審議会等の開催を見合わせました。</p> <p>庁内の策定委員会を書面による意見照会で2回実施しました。</p> <p>総合計画審議会を2回開催しました。(意見照会を1回実施)</p> <p>パブリックコメント(第5次柏原市総合計画(基本構想、基本計画(案)))を実施しました。</p>

達成目標
市民ワークショップ等で伺った意見も踏まえ、庁内検討委員会や柏原市総合計画審議会で検討の上、本年度中に計画を策定します。

達成状況	達成度
コロナ禍の影響による審議会開催の遅れなどにより、第5次柏原市総合計画の策定完了までには至らず、総合計画審議会から答申を受けるところまでの進捗となりました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>コロナ禍の影響で、今年度の庁内策定委員会、総合計画審議会の開催が予定より大幅に遅れるなどし、策定日程に大きな遅れが生じましたが、書面による意見照会や10月以降の審議会開催など、策定完了に向けた取り組みを着実に進めてきました。</p> <p>今年度内に、パブリックコメントの実施、総合計画審議会による答申を受けるところまで進捗したことから、令和3年度前半に市議会へ基本構想を上程し、計画策定完了を目指します。</p>

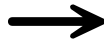
部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 2	行政経営計画（指針）の策定
--------	---------------

全体の達成度

目指すべき方向 (中期的な目標)	総合計画に基づく各種施策の実施を支えるべく、経営的な視点による行政運営の推進を図ります。
---------------------	--

活動目標
先進市の事例や民間企業での取組などを参考に、本市の取組方針をまとめていきます。



具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>行政経営計画（指針）の骨子の検討</li> <li>行政経営計画（指針）の素案作成</li> <li>新型コロナウイルスの影響による再検討の開始</li> </ul>



達成目標
持続可能な行政運営を目指し、効率的で効果的な「運営手法」などを検討し、その指針を策定します。



達成状況	達成度
新型コロナウイルスの影響により、人々の生活様式が激変するなどしたことで、経営的な視点そのものが従来の考え方とは異なったものとなり、内容を再検討する必要が生じました。	

総合評価・総括
<p>総合計画に基づく各種施策の推進を、より一層図るため、経営的な視点から行政経営計画（指針）を令和2年度内に策定する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、人々の生活様式が激変する中、経営的な視点そのものが従来の考え方とは異なったものとなりました。</p> <p>計画（指針）については、新型コロナウイルスによる影響への対応も考慮したものとなるよう、再度検討の上で、令和3年度中に策定してまいります。</p>

※ コロナ禍の影響により、達成状況及び全体の達成度の評価はしておりません。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 3	「広報かしわら」・「柏原市ウェブサイト」をはじめとし、各種SNSなど多様なメディアも活用した、市政情報及びまちの魅力資源の発信・強化
--------	--

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民一人ひとりに柏原市に誇りと愛着を持ってもらい、柏原市の魅力を市内外に推奨していただくとともに、魅力あるまちづくりや地域活動に積極的に参画する気運の醸成に努めます。
---------------------	---

活動目標
柏原市の魅力発信及び定住促進をねらい、PR用冊子の配布を積極的に行います。
公式ノベルティグッズの注染・捺染手ぬぐいを作成し、柏原市の伝統産業の振興と魅力発信に努めます。

具体的な取組実績
柏原市の持つ歴史や自然等の魅力を網羅したPR冊子と人口増加に向け、主に子育て世代をターゲットにした移住促進用冊子について、随時配布を行いました。
柏原市の伝統産業の更なる振興と魅力発信のために市内染色事業者と連携し、新たな図柄による市オリジナル手ぬぐいを作製し、本市の魅力を様々な機会に発信しました。

達成目標
市外の方々に柏原市の魅力を知ってもらい、人口増加を目指します。
市内外の企業や団体に本市市場産業の周知と活用を促し、新たな魅力の発掘に努めます。

達成状況	達成度
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、市外の団体などの接触に制限がありましたが、PR冊子については一定の需要はあり、できる範囲でのプロモーションに努めました。	C 一部達成
新たな図柄による市オリジナル手ぬぐい等を通じて、本市の魅力を発信することができました。 PR冊子同様、できる範囲でのプロモーションに努めました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一定の制限がありましたが、手ぬぐいを利用した新しい形でのプロモーション活動を引き続き、実施することができました。</p> <p>また、SNSを活用した魅力発信を行うことにより、確実にフォロワー数の獲得にも至っており、閲覧数やコメントからも、市への愛着や誇りの醸成に一定の効果が見られているものと考えております。</p>

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 4	組織力向上に向けた業務コミュニケーションの促進
--------	-------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	業務が多様化・増加している中、職員一人ひとりが能力を發揮して業務の効率化が図れるよう、職員や職場間での効率的なコミュニケーションの促進・構築に取り組みます。
---------------------	--

活動目標
職員や職場間で行われている連携・連絡手法について、聞き取り等を通じて業務の効率化の観点から問題点や改善点の検証に取り組みます。

具体的な取組実績
職員間の業務連携において課題との声が多かった電話やメールを補完する即時性の高いコミュニケーションツールの導入に向けた検討を行いました。

達成目標
業務手順の見直しや新たなコミュニケーションツールの導入等により、更なる業務の効率化を目指します。

達成状況	達成度
複数のコミュニケーションツールを検討した結果、セキュリティの高いL GW AN環境で使用できるビジネスチャット（LOGOチャット）を令和2年6月より試験導入することにしました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
チャット（LOGOチャット）の活用により、予算編成時には職員間や部署間において当該チャットを使用したデータのやり取りが行われる等、業務連携の即時性を高めることができました。 また自治体間の情報交換やテレワークを実施した場合の職場との連絡手段としても当該チャットの使用が考えられるため、更なる活用に向けた検討を進めてまいります。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 5	市民の的確な避難行動に関する取組の推進
--------	---------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	災害による危機を回避するため、避難情報の伝達機能を強化し、市民が逃げ遅れることの無いよう取組を進めるとともに、避難所における資器材の充実を図ります。
---------------------	--

活動目標
防災行政無線を改修し、電話応答装置を設置します。
指定避難所に発電機及び投光器を配備し、停電対策を行います。

具体的な取組実績
防災行政無線の改修により、電話応答装置を増設し、電話応答サービスを開始しました。
避難所における停電対策として、市内8カ所の指定避難所に発電機及び投光器を配備しました。

達成目標
防災行政無線による放送内容が特別回線から確認でき、市民に避難情報を的確に伝えます。
避難所が停電した場合においても、運営を継続して行います。

達成状況	達成度
電話応答サービスを開始し、避難情報など防災行政無線から放送される内容について、電話で確認できるようになりました。	A 達成
避難所が停電した場合でも、夜間の照明や避難者の携帯電話の充電などの電源を確保でき、避難所運営が継続できます。	A 達成

総合評価・総括
<p>防災行政無線の電話応答サービス開始により、避難情報など緊急性が高い情報の聞き逃しを防止し、市民に的確に伝達できるようになりました。</p> <p>また、避難所の機能を強化するため、停電対策として発電機及び投光器を8カ所の指定避難所に配備しました。引き続き、残る指定避難所についても配備を進めてまいります。</p>

部(局)名	政策推進部
-------	-------

<b>重点課題 6</b>	<b>国土強靱化地域計画の策定</b>
---------------	---------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	大きな災害により被災した場合でも、最悪の事態を回避し、早期に復旧・復興できる災害に強いまちづくりを計画的に進めてまいります。
---------------------	--

<b>活動目標</b>
柏原市強靱化地域計画を策定し、市を強靱化するために重点的に取り組むべき施策の抽出を行います。

<b>具体的な取組実績</b>
市に影響を及ぼす災害リスクに対して、どのような脆弱性があるのかを分析した上で、関係する25部署からヒアリングを行い、重点的に取り組むべき126施策の抽出・整理を行いました。

<b>達成目標</b>
計画の策定により各部署が行うべき施策を明確化し、効率的に事業を実施します。

<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
柏原市強靱化地域計画を策定しました。 計画の策定にあたっては、施策を担当する部署や各期間における目標を明確にして、定期的な計画の更新により重点施策を推進できるようにしました。	A  達成

<b>総合評価・総括</b>
今年度は、自然災害による被害を最小限に留め、早期に復旧・復興できるまちづくりを目指して、柏原市強靱化地域計画を策定しました。 計画の策定にあたっては、関係部署と調整を行いながら、これから柏原市が取り組むべき施策についての抽出・整理を行いました。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 7	消防団の災害対応力の強化
--------	--------------

全体の達成度

目指すべき方向 (中期的な目標)	災害時に求められる多様なニーズに応えることができるよう、災害対応力を強化します。
---------------------	--

活動目標
女性分団を新たに設立し、災害時の後方支援など女性の視点を取入れた対応を実施します。
地域自主防災訓練を通して、地域住民に災害対応技術の指導・啓発を行います。

具体的な取組実績
女性分団を新しく設立し、消防団基礎教育訓練や大阪府が主催する女性消防団研修会に参加し、消防団員としてのスキルアップを図りました。
コロナ禍の影響により、全ての地域自主防災訓練が中止となり、災害対応技術の指導・啓発などの活動ができませんでした。

達成目標
市民の安全確保を図るため、消防団の災害対応力を強化します。
消防団と地域が連携することにより、地域防災力の向上を図ります。

達成状況	達成度
コロナ禍の影響によって予定していた訓練などの大部分が中止となりましたが、一部の消防分団においては、柏原羽曳野藤井寺消防組合と合同で林野火災対応訓練（高尾山）を実施しました。	
コロナ禍の影響により、全ての地域自主防災訓練が中止となり、消防団が参加できませんでした。	

総合評価・総括
<p>コロナ禍の影響により、災害対応訓練の実施や、地域自主防災組織が実施する防災訓練への参加ができませんでした。そのよう中でも、一部の消防分団においては、高尾山において柏原羽曳野藤井寺消防組合と合同で林野火災対応訓練を実施しました。</p> <p>今後もコロナ禍の影響が一定続くことが考えられますが、感染症対策を万全にした上で、消防団の機能強化に取り組めます。</p>

※ コロナ禍の影響により、達成度及び全体の達成度の評価はしていません。



## 令和2年度各部署の重点課題の取組結果

部(局)	総務部
部(局)長	山口 伸和
理事	桐藤 英樹(庁舎整備担当)

### 【基本姿勢】

総務部では、市が所有する情報資産のセキュリティ対策や職員が執務を行う上で基盤となる法務能力の向上を図る取組を行ってまいります。

また、公用車等の管理や循環バスの適正運行による市民生活の利便性の確保に努めてまいります。

さらに、「柏原市公共施設等総合管理計画」等に基づき、公有財産の有効活用を図るとともに、新庁舎整備については、令和3年3月末の建物完成、令和4年3月末の駐車場・外構整備等の完了を目指し、安全面などに十分留意しながら、引き続き新庁舎建設に取り組めます。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	令和2年度 達成状況
1	職員の法務能力の向上に努めます。	B
2	市内循環バスの安全運行を推進するとともに、運行効率の向上に努めます。	B
3	公共施設の最適化を図るとともに、公有財産の有効活用に向けた取組を推進します。	C
4	市民の安全・安心の拠点となり、市民生活の中心となる新庁舎の整備を進めます。	A

部(局)名	総務部
-------	-----

重点課題 1	職員の法務能力の向上に努めます。
--------	------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	複雑・多様化する行政事務について、市職員として適正かつ迅速に対応できるよう、職員の政策法務能力の向上に努めます。
---------------------	--

活動目標	具体的な取組実績
職員を対象に職務を執行する上で基礎となる、地方自治法等の法務研修を実施します。	総務課職員により地方自治法の基礎的な研修を令和2年7月21日・28日に行いました。 また、主務を対象とした地方自治法研修を11月25日に行いました。
主として管理職を対象に、民法を中心とした行政事務の執行に必要な法務研修を実施します。	総務課職員により主として管理職員を対象として、相続関係を中心とした法務研修を11月18・19日に行いました。

達成目標	達成状況	達成度
行政事務を遂行する上で、必要となる知識の習得を目指します。	地方自治体の職務を遂行するために必須となる事項について研修を行い、遂行する職務とその根拠となる法令の関係について再認識する機会を作ることができました。	B 概ね達成
行政事務を統括する上で、政策の形成のために必要な法務能力を習得することを目指します。	管理職員にとって政策形成と課題解決のために必要となる、令和2年4月に改正された民法を中心に研修を行い、法務能力の重要性について再認識する機会を作ることができました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>複雑・多様化する行政事務について、市職員として迅速に対応できるよう、知識の習得と政策法務能力の向上に取組み、若手職員を対象とした地方自治法の基礎的な知識を得るための研修を合計3回、管理職員を対象とした、相続関係を中心とした法務知識を向上させるための法務研修を2回行いました。</p> <p>今後も、継続して研修を行い、行政事務を遂行する上で必要とする知識のさらなる向上を目指します。</p>

部(局)名	総務部
-------	-----

重点課題 2	市内循環バスの安全運行を推進するとともに、運行効率の向上に努めます。
--------	------------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	現在の運行状況を精査分析することにより、安全なバスの運行に努めるとともに、運行効率の向上を図ります。
---------------------	--

活動目標
市内循環バスの効率的な運行を目指します。

具体的な取組実績
新型コロナウイルスが感染拡大したが、様々な感染対策を行いつつ、市内循環バスの効率的な運行に努めました。

達成目標
ダイヤ改正等の必要性を検討するため、バスの運行状況の調査・分析を行います。

達成状況	達成度
令和2年度市民意識調査の満足度においては、令和元年度に比べて「交通網」において0.04ポイント、「市民サービス」において0.09ポイントプラスとなっており、取組が満足度につながっていると考えられます。	B
	概ね達成

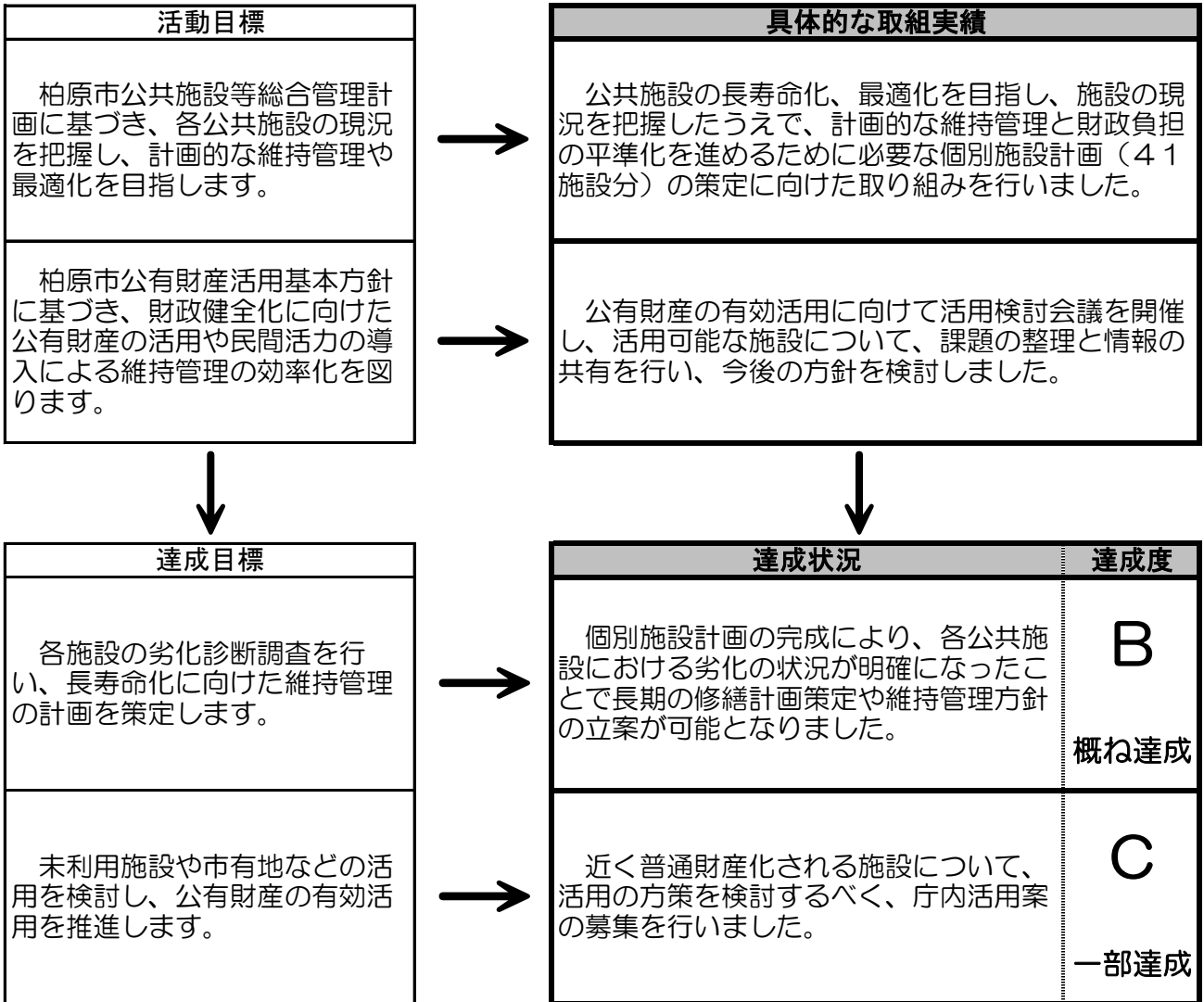
総合評価・総括
<p>新型コロナウイルスが感染拡大したが、換気対策や抗菌対策を行うなど、様々な感染対策を行い、市民の貴重な移動手段の運行を確保した。</p> <p>今後も、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、感染対策を行い、市民の貴重な移動手段として市内循環バスの安定的かつ効果的な運行を進めてまいります。</p>

部(局)名	総務部
-------	-----

重点課題 3	公共施設の最適化を図るとともに、公有財産の有効活用に向けた取組を推進します。
--------	--

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民サービスに必要な施設の最適化実現のために、今後、老朽化が進む公共施設の計画的な更新、統合、複合化、長寿命化を目指します。
---------------------	--



総合評価・総括
<p>今後、公共施設の維持に伴う財政負担は重要な課題であり、施設の長寿命化やライフサイクルコストの低減に向けた全庁的な取り組みの推進が必要不可欠です。今年度完成した個別施設計画を基にした適切な維持管理や施設の複合化等の合理化が図られるよう庁内マネジメントを進めます。</p> <p>また、余裕施設の有効活用についても、継続して検討を進め、公共施設の最適化を図ってまいります。</p>

部(局)名	総務部
-------	-----

重点課題 4	市民の安全・安心の拠点となり、市民生活の中心となる新庁舎の整備を進めます。
--------	---------------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	災害に対する防災拠点機能を兼ね備えた新たな庁舎を整備することにより、市民の安全と安心を守り、市民交流を促進することで地域の活性化を図ります。
---------------------	--

活動目標
新庁舎建設について、品質、コスト、工程等を適正に管理します。
防災無線の移設、電話等設備の整備、什器・備品等の購入・再利用、移転等の各計画を立案し、業務等を発注します。

具体的な取組実績
新庁舎建設工事の事業者とは随時打合せのほか、週1回の定例会議を令和3年3月3日現在で計55回行っています。また定例会議終了後は必要に応じより詳細な協議となる建築・設備の分科会を行っています。なお、これらの会議・協議については発注者支援を委託しているCM業者も参加しており、専門的な意見を参考に品質、コスト、工程等について管理・調整を行いました。
令和2年12月までに府・市防災行政無線移設業務、地震計移設業務、電話設備購入、什器備品購入等の発注・契約を行い、令和3年1月には新庁舎への移転業務を契約しました。また、既存什器の移転や廃棄処分に支障が無いようリストの作成、什器へのラベリング等を行いました。

達成目標
旧庁舎解体、駐車場整備等を除く新庁舎建物を完成させ、関係法令に基づく必要な検査などを完了させます。
令和3年度から庁舎機能を新庁舎に移転できるよう、新庁舎建設と並行して設備等の整備を行います。

達成状況	達成度
令和3年3月初旬から随時事業者による自主検査等を行い、3月15日から16日にかけて柏羽藤消防組合による消防検査、府・確認検査機関による仮使用認定の検査を受検しました。	A 達成
令和3年4月に新庁舎の引渡しを受け、5月6日から新庁舎での執務が可能となるよう、新庁舎建設工事とは別途となる各種業務、備品購入などのスケジュール調整等を行いました。防災行政無線などは新庁舎建設工事期間中に行う作業と移転直前に行う作業を調整し、万が一の災害時に支障の無いよう現・新庁舎間での切り替えを行います。	A 達成

総合評価・総括
<p>令和元年9月末から約18ヶ月間をかけ、令和3年3月末に新庁舎建物が完成します。現庁舎に隣接し、南北に細長い敷地形状であることから、工事期間中は駐車場が制約されることとなり、車での来庁者の方にはご不便をお掛けしました。新庁舎への移転は窓口への来庁が多い年度末を避け、システム等の確実な移行も考慮し5月のGW期間中に行うこととしています。</p> <p>新庁舎への移転後も別館改修、現庁舎の解体、駐車場整備などの外構工事を行い、全ての施工が完了するのは令和4年3月末の予定ですが、引き続き安全・安心の拠点となる新庁舎の整備を進めて参ります。</p>

## 令和2年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	財務部
部(局)長	福井 浩

### 【基本姿勢】

財務部では、歳入の根幹となる市税の確保をはじめ、適正な契約事務の執行など安定した財政規律の確立に努めていますが、財政運営は依然厳しい状況にあります。

したがって、令和2年度においても引き続き次の項目に取り組みます。

- ① 収支のバランスに注意しながら財政運営を行うとともに、将来の負担となる市債の借り入れにあたっては、事業を厳選します。
- ② 市税の公平で適正な課税と徴収率の向上に努めます。
- ③ 入札及び契約にあたっては、公正性、透明性の向上に努めながら、競争性の確保を図ります。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)  
 B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)  
 C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)  
 D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)  
 E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	令和2年度 達成状況
1	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立	B
2	市税の公平で適正な課税及び徴収	C
3	適正な入札及び契約の執行	A

部(局)名	財務部
-------	-----

重点課題 1	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立
--------	----------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	健全な行財政運営を確立するため、歳出の抑制を図り、財政調整基金に頼らない収支の均衡を目指します。
---------------------	--

活動目標
令和元年度決算について予算に対する執行率の検証などを行い、次年度の予算編成に活かします。
経常一般財源ベースの収支計画を作成し、今後の事業の実施検討に活かします。

具体的な取組実績
令和3年度予算の編成にあたり、各事業課に対し、予算要求額の算出については実績・実態に見合った適正な額とするよう要請しました。
平成30年度及び令和元年度の決算について分析を行いました。 また、償還シミュレーションを更新し、経常一般財源ベースの所要額の見通しを作成しました。

達成目標
臨時的な経費を除いた歳出経費の縮小を図ります。
今後増加が見込まれる投資的事業に係る費用の平準化を図ります。

達成状況	達成度
令和3年度の予算要求額について各事業課とヒアリングを行い、令和元年度の決算状況や令和2年度予算の執行状況等を踏まえてさらに精査を行うことにより、歳出予算額の縮小を図りました。	B 概ね達成
各事業課が作成した実施計画を基に投資的事業に必要な一般財源を算出し、今後の見通しを踏まえて事業の実施検討を行いました。	C 一部達成

総合評価・総括
<p>令和3年度当初予算は、新庁舎の整備に係る投資的経費の減により、令和2年度予算と比べると総額で約21億円の減となりました。しかし、一般財源ベースでは、経常的経費の増加により約1億円の減にとどまっています。本市の財政運営は、新型コロナウイルスの影響による税収の減など今後も厳しい状況が続くと見込まれることから、歳出経費の一層の縮減に努めてまいります。</p> <p>また、投資的経費の平準化については、今年度末に公共施設等に関する「個別施設計画」が策定されることから、施設の統廃合や改修の必要性、実施時期などについて関係部署と協議し、さらに検討を進めてまいります。</p>

部(局)名	財務部
-------	-----

重点課題 2	市税の公平で適正な課税及び徴収
--------	-----------------

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	<p>市税は、市の歳入の根幹であり、市民サービスを賄うための貴重な財源です。課税客体を把握し、公平で適正な課税を行います。</p> <p>また、自主納付の啓発と公平・適正な徴収となるよう滞納整理に取り組み、徴収率の向上を図り、税負担の公平性を確保します。</p>
---------------------	---

活動目標
<p>課税調査により課税客体を的確に把握し、公平で適正な課税及び徴収に努め、市税に対する信頼と税負担の公平性を確保します。</p>
<p>滞納額解消に向け、早期の納税相談及び交渉を行います。 また、滞納事案については、厳正な滞納整理を推進し、市税の適正な確保に努めます。</p>

具体的な取組実績
<p>給与支払報告書未提出事業所への提出催告（40件）、法人市民税未申告法人等への課税調査（44件）、償却資産未申告事業所への課税調査等（88件）を実施しました。その結果に基づき、合計8,520,866円の市税を新たに課税しました。</p>
<p>滞納となった場合に、督促状・催告書を送付し、早期に納税相談を行い、自主納付を促しました。それでも自主納付に至らない場合には、財産調査による滞納処分を執行し、滞納額の縮減を図りました。</p>

達成目標
<p>令和元年度の徴収率を上回ることを目指します。</p>
<p>現年度課税分及び滞納繰越分の収入未済額の縮減を目指します。</p>

達成状況	達成度
<p>令和3年2月末時点の市税徴収率は、コロナウイルス感染症に伴う、徴収猶予の特例制度等の影響もあり、86.8%と昨年同時期と比較し、0.4ポイントの減少となりました。</p>	
<p>令和3年2月末時点の滞納繰越分の収入未済額は74,562,150円で前年度から9,333,105円の減少となりました。また、現年度課税分については、徴収率が87.4%で昨年度同時期と比較して0.5ポイントの減少となりました。</p>	<p style="font-size: 2em;">C</p> <p>一部達成</p>

総合評価・総括
<p>新型コロナウイルスの感染症の感染拡大の影響は、徴収猶予の特例制度による現年度課税分の徴収率の低下、滞納繰越分の徴収困難化など、令和2年度の市税徴収業務に少なからず影響が生じることとなりました。感染拡大については発生から1年以上経過していますが、年度末時点においてもいまだ終息の気配は見られないため、令和3年度の市税徴収業務についても一定の影響が及ぶと考えられます。</p> <p>このような社会状況、経済状況を踏まえ、当面は納税者の実情に即したきめ細やかな納税相談に今まで以上に取り組むとともに、課税適正化のための調査等の取り組みも進めてまいります。</p>

※ コロナ禍の影響により、徴収率の達成度については、評価はしておりません。



部(局)名	財務部
-------	-----

重点課題 3	適正な入札及び契約の執行
--------	--------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	契約事務における透明性・公正性・競争性等の確保とともに、特に建設工事においては、昨年度に引き続き、元請業者及び一次下請業者に社会保険の加入を求める他、施工時期の平準化による適正な工期の設定等、担い手の育成を視野に入れた発注方法を取り入れていきます。
---------------------	--

活動目標
前年度に引き続き、建設工事の入札に参加する場合には、社会保険等の加入を条件にするとともに、受注者には、社会保険等未加入業者を下請人とし、旨の「社会保険等に関する誓約書」の提出を求めます。 また、適正な工期の確保を目的に施工時期の平準化に努めます。
入札及び契約内容の透明性を確保するため、入札等監視委員会を開催します。



具体的な取組実績
建設工事の契約に際し、すべての落札者から「誓約書」の提出を求めるとともに、完成検査において請負業者から提出された施工体制台帳により、社会保険等の未加入の下請人がいないことを確認しました。 また、適正な工期の確保するため、債務負担行為を設定した入札制度（「余裕期間設定工事」）を新たに取り入れました。
計3回の委員会を開催しました。



達成目標
建設工事の受注者には、一次下請業者はもちろんのこと、二次以下の下請業者においても社会保険等の加入を促進します。 また、施工時期の平準化を目的とし、予算の繰越しや債務負担行為を活用した「余裕期間設定工事」の発注を行います。
入札等監視委員会からいただいた意見については、入札・契約制度改善検討委員会等に諮り、より公正・公平な入札契約制度を構築します。



達成状況	達成度
すべての建設工事の完成検査において、下請け人の社会保険等の加入を確認でき（除外業者除く）、当初の目標を達成できました。 また、「余裕期間設定工事」についても、上下水道部発注の2件の入札を執行しました。	A  達成
対象となる入札や契約について審議の結果、特に問題点となる意見の具申や是正勧告は、ありませんでした。	A  達成

<b>総合評価・総括</b>
契約事務における透明性・公正性・競争性の確保については、対象となる契約案件を3回にわたり開催した入札等監視委員会において審議いただくことにより達成できたと考えます。特に委員会において審議できる時間には制約があるため、委員による対象案件から審議案件を抽出に要する期間を約2週間とすることにより、抽出されない案件についても十分に内容を確認いただく時間を確保しました。 また、建設工事の請負業者及び1次下請業者の社会保険等の加入の義務付けについても、入札の公告、契約、完成検査でのタイミングでの周知、確認をすることにより徹底できたと考えています。

## 令和2年度各部署の重点課題の取組結果

部(局)	市民部
部(局)長	西戸 浩詞

### 【基本姿勢】

市民部には、戸籍、住民基本台帳や人権、環境などを所管する市民生活に関わりが深い部署と、にぎわいのあるまちづくりのために産業の振興や地域との協働を推進する部署があります。

まず市民課では、市民に寄り添った親切かつ丁寧な対応を基本に質の高い窓口サービスの充実と、マイナンバーカードを利用した新しいサービスの利用促進により、市民の利便性の向上を図ります。

人権施策については、人権が常に尊重される地域社会の実現に向け、部落差別やヘイトスピーチの解消などへの啓発や相談体制の充実に取組みます。

環境施策については、ごみの減量化を進めるとともに、地域のリサイクル活動を支援します。また、関係機関と連携し、河川の水質改善に努めます。

産業の振興については、地域や地元企業と連携し、人材育成と市内外へのさまざまなPRを通じて、現在すでにある柏原の魅力的なまち・ひと・しごとをつなぎ合わせることで活性化を図ります。

また、豊かな自然環境や歴史的な資源を活かし、交流人口の増加による観光振興と地域の活性化を図ります。

さらに、にぎわいのあるまちづくりのために、現在の自治会活動を支援するとともに、より一層安全なまちづくりのため、地域と一体となって防犯カメラやLED防犯灯の設置をはじめとした防犯対策を進めていきます。

これらにより、「日本一住みたいまち柏原」に一步でも近づくよう、知名度アップと交流人口や定住人口の増加を目指し、一人でも多くの方が本市を訪れ、また、住んでいただけるような施策に取り組んでいきます。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	令和2年度 達成状況
1	市民の利便性の向上	A
2	部落差別をはじめとする人権課題の解消に向けた周知・啓発の推進	A
3	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの促進】	B
4	農業・商業・工業の振興	A
5	地域資源の活用による交流人口の増加	A
6	防犯対策の推進	A

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 1	市民の利便性の向上
--------	-----------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	マイナンバーカードを活用した新しいサービスの利用促進と窓口サービスの充実に取り組みます。
---------------------	--

活動目標
無料写真撮影サービス、休日及び夜間延長窓口等によりマイナンバーカード取得機会の増加に努めます。
マイナポイントについて、丁寧な制度の周知とマイナポイント予約の支援を行い、利用しやすい環境を整えます。

具体的な取組実績
年度当初はコロナ禍の影響を受けて見送りましたが、令和2年7月から毎月1回の休日開庁を継続的に行いました。また、無料写真撮影サービス及びマイナンバーカードの受け取りについて、インターネットにより手続の予約を行うことができる窓口予約サービスを導入しました。
令和2年7月よりマイナポイント予約(申込)支援のための専用窓口を常設し、マイナンバーカードを受け取られた方に対して、マイナポイント制度の説明および利用のための手続支援を行いました。

達成目標
マイナンバーカードの取得率向上により、マイナポイントや健康保険証利用の普及促進を図ります。
マイナポイントの活発な利用により、消費活性化に繋がります。

達成状況	達成度
令和2年3月末時点のマイナンバーカードの取得率17.9%に対し、令和3年2月末時点における取得率は28.7%となっており、この数値はマイナポイントや健康保険証利用の普及促進にも繋がる結果であると考えます。	A 達成
マイナポイント予約(申込)支援のための専用窓口では、令和3年2月末までに3,099件の手続支援を行い、マイナポイント制度の利用促進に努めました。	A 達成

総合評価・総括
今年度はマイナポイント制度への関心の高まりから、マイナンバーカードの需要が著しく増加しました。新型コロナウイルス感染症対策として、窓口予約サービス及びマイナンバーカード交付申請用タブレット端末を導入し、マイナンバーカード関連の手続きによる窓口の混雑を緩和するとともに、待ち時間の短縮による市民サービス向上にも努めました。これらにより円滑に窓口業務を行いながらマイナンバーカードの取得率を向上させることが出来、マイナポイントや健康保険証利用の普及促進のほか、証明書等コンビニ交付の利用促進にも効果があったと考えます。

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 2	部落差別をはじめとする人権課題の解消に向けた周知・啓発の推進
--------	--------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	部落差別をはじめ、様々な人権課題の解消に向けた周知・啓発の推進及び相談体制の充実を図ります。
---------------------	--

活動目標
<p>広報誌、市ウェブサイト及び市内公共施設等や各種行事を活用した啓発活動を、引き続き行います。</p> <p>また、柏原市人権協会や大阪法務局等の関係機関と連携して啓発活動を推進します。</p>
<p>人権いろいろ相談等を活用し、関係部署や関係機関と連携した相談体制の充実を図ります。</p>

具体的な取組実績
<p>コロナ禍の影響により、各種行事が中止になるなど、例年に比べ啓発活動や関係機関との連携の機会が減少しましたが、部落差別をはじめとする従来からの人権課題に加え、新たな人権課題である「コロナ差別」についても広報誌、市ウェブサイト及び市内公共施設を活用し、啓発活動をおこないました。</p>
<p>各相談窓口との連携を図れるよう、相談窓口担当者連絡会議を1回開催しました。</p>

達成目標
<p>様々な機会を捉えて啓発活動を行い、市民の人権意識の向上を図ります。</p>
<p>相談体制を充実させることにより、人権課題の解消を行います。</p>

達成状況	達成度
<p>コロナ禍の影響により、啓発活動の機会は減少したものの、市民意識調査の人権に関する満足度、重要度が微増するなど、市民の人権意識の向上が一定程度図れました。</p>	A 達成
<p>人権いろいろ相談、女性のための相談、女性・子ども電話相談及び男性のための電話相談などで、関係相談窓口とも連携し、人権課題の解消に努めました。</p>	A 達成

<b>総合評価・総括</b>
<p>コロナ禍の影響により周知・啓発の機会が減少したものの、部落差別をはじめとする従来からの人権課題に加え、コロナ差別といった新たな人権課題についての周知・啓発を行いました。市民意識調査においては前年度に比べ満足度及び重要度が微増となり向上しております。</p> <p>人権課題への取組は継続することが重要と認識していることから、今後も工夫をしながら続けてまいります。</p>

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 3	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの促進】
--------	-------------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	ごみの分別、減量及びリサイクルをより一層推進することにより、循環型社会の構築を目指します。
---------------------	---

活動目標
水銀による環境汚染を防止するため、水銀使用廃製品について、市内公共施設における拠点回収を実施します。
町会や子ども会などによる新聞紙等の回収事業を拡大します。

具体的な取組実績
市内公共施設9カ所に回収ボックスを設置し、蛍光灯・乾電池・ボタン電池・水銀体温計・水銀温度計・水銀血圧計の回収を実施。2月末時点で1,755kg回収しており、前年度より100kg以上の増となりました。
今年度の町会や子ども会などリサイクル登録団体は50団体になり、前年度より2団体の増となりました。

達成目標
市民意識調査の「資源の循環利用」、「地球温暖化防止」の満足度を前回数値より高めます。
集団回収による回収量と実施団体数を、前年度より増とすることを目指します。

達成状況	達成度
「資源の循環利用」は前回3.51%から3.46%と0.05ポイント減少したものの、「地球温暖化防止」は前回2.97%から3.07%と0.1ポイント増加しました。	B 概ね達成
回収量については、1～3月の回収量は4月に判明するため、12月までの回収量を前年と比較すると今年度は約753トンで、前年より約64トン減少したものの、今年度の実施団体数は50団体で、前年より2団体の増となりました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>水銀廃棄物の拠点回収は水銀による環境汚染を防止し、健康保護及び生活環境の保全を図ることを目的に実施しており、今後も適正な水銀廃棄物の回収に向け継続実施します。</p> <p>また、集団回収につきましても、環境負荷の少ない資源の循環利用を推進することを目的に実施しており、今後も町会や子ども会に対し新聞紙・雑誌・ダンボール・アルミ缶のリサイクルを推進してもらえるように働きかけるとともに、登録されていない団体に対して参加促進を図ります。</p>

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 4	農業・商業・工業の振興
--------	-------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	農業・商業・工業ともに地域や地元企業と連携し、人材育成と市内外へのPRを通じて活性化を図ります。
---------------------	--

活動目標
大阪府のモデルエリアに採択された国分西エリアの「商店街等エリア魅力向上事業」において、地域の魅力を活性化するための事業を創出します。
農業について、専業農家や後継者等への国・府・市補助事業の活用を促進します。

具体的な取組実績
コロナ禍の影響により、エリア魅力向上の会議やワーキンググループが開催できませんでした。 感染症拡大防止対策をはかりながら地域経済の活性化を図るため、#柏原エール飯の取り組みや、外食産業アプリケーション開発運用事業、地域活性化キャンペーンなどを実施し、キャッシュレス決済を推進しました。
コロナ禍の影響に対応できるよう、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用しネットを活用した農産物販売やぶどう狩りの受付を支援する農産物等販売促進事業、また、国の農業経営継続補助金の申請支援、大阪版認定農業者支援事業、農業後継者支援事業を実施しました。

達成目標
実施事業数（2事業）
農業関係の活用事業数（8件）

達成状況	達成度
国分西エリアの「商店街等エリア魅力向上事業」はコロナ禍の影響で長期に渡り会議が開催できなかったことや、当初計画立案時から社会情勢が大きく変化したことなどから、目標達成は困難なものの、新たに商店街消費促進事業などの他の支援策を実施しました。	
農産物等販売促進事業（10件） 農業経営継続補助金（15件） 大阪版認定農業者支援事業（8件） 農業後継者支援事業（2件）	A 達成

総合評価・総括
<p>農業、商工業について、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、多くの施策を行いました。しかしながら、中小企業にとってはセーフティネットや危機関連保証などの融資件数が大きく増加するなど、コロナ禍における経済的影響は甚大であり、活性化には至っていないものと考えられます。</p> <p>また回復には相当な期間を要することが見込まれ、今後も国や府の施策を注視しながら適切な施策を展開していく必要があります。</p>

※ コロナ禍の影響により、実施事業数の達成度については、評価はしていません。

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 5	地域資源の活用による交流人口の増加
--------	-------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	豊かな自然環境や歴史的な資源を活かし、交流人口の増加による観光振興と地域活性化を図ります。
---------------------	---

活動目標
2市2町広域観光ルート（柏原市・香芝市・王寺町・三郷町）を活用した現地視察会や情報交換会などを実施します。
三郷町との「3幸プロジェクト」により、バーチャルとリアルツアーを実施します。

具体的な取組実績
コロナ禍の影響により、現地視察会や情報交換会を実施する計画を変更しました。afterコロナを見据えてウェブ上での情報発信を強化するとともに、ウォーキングコースを掲載した冊子「大奈ウォーク」に日本遺産に関する情報を追加し20,000部増刷しました。
日本遺産・龍田古道周辺を舞台にしたスマホ上のバーチャル謎解きツアー「龍姫と風神さまの失くしたもの」を令和3年2月1日（月）から令和3年3月31日（水）まで配信し、2,000人以上の参加がありました。

達成目標
エリア全体の価値を高めることにより、柏原市の魅力や認知度を高め、多くの方が訪れるにぎわいあるまちを目指します。

達成状況	達成度
コロナ禍の影響を受けながらも、オンライン上の情報発信や新たな企画を実施したことで新聞社や放送局に取り上げてもらえる機会が増え、認知度向上を図ることができました。	A  達成

総合評価・総括
<p>2市2町の取り組みや「3幸プロジェクト」に加えて、新たに大阪観光局・羽曳野市と連携したE-BIKEを使った実証事業（観光庁公募事業「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」）、日本遺産「龍田古道・亀の瀬」推進協議会によるWEBシンポジウムの実施などに取り組みました。</p> <p>メディア露出増加による本市の知名度向上、またオンライン上での事前周知により、コロナ明けの交流人口の増加および地域活性化につながることを期待されます。</p>

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 6	防犯対策の推進
--------	---------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	自治会・町会が管理する防犯灯の完全LED化を今後4年間で実施します。(令和元年度末現在約77%) また、平成29年度に実施した自治会・町会要望調査に基づく自治会・町会設置の防犯カメラを2~3年程度で120台とします。(令和元年度末現在95台)
---------------------	--

活動目標
自治会・町会設置の防犯灯について、新設・取替合わせて400本以上をLED化します。
自治会・町会設置の防犯カメラについて、10台以上の新設を推進します。

具体的な取組実績
令和2年度の防犯灯LED化について、新設26本、取替413本の計439本実施しました。
令和2年度の自治会・町会設置の防犯カメラについて、20台を新設しました。(令和2年度末現在115台)

達成目標
活動目標を確実に実施することにより、各目標の進捗率の向上を図ります。
市民意識調査の「防犯体制」満足度を前回数値より高めます。

達成状況	達成度
令和2年度末の市内の防犯灯のLED化率は5,476本/6,568本≒83.4%となり、計画どおり進捗しています。	A 達成
満足度は3.22となり、前回値3.16より高まりました。	A 達成

総合評価・総括
設定した目標値はすべて達成しましたが、計画の途中段階でありますので、今後も計画達成に向け、引き続き取り組みを推進してまいります。



## 令和2年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	健康福祉部
部(局)長	石橋 敬三
理事	田中 徹(健康づくり・ワクチン接種担当)

### 【基本姿勢】

「地域のつながりの中で誰もが健康で安心して暮らしている」の実現を政策目標とします。  
この目標を達成するため、支援を必要とする市民一人ひとりのニーズを的確に把握しながら、高齢者、障害者、妊婦や子育て世帯など誰もが、身近な地域で不安なく自立して暮らすことができるまちを目指し、生活困窮世帯の自立支援、高齢者福祉の増進と健康寿命延伸、障害者の自立支援、市民の健康づくり、妊娠から子育てを経て18歳までの総合的な支援、福祉サービスの質の向上と確保等、多岐にわたる課題に対し、部内連携体制を強化しつつ総合的に取り組みます。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	令和2年度 達成状況
1	健康づくり事業の活性化と市民の運動習慣の定着等を目指した健康管理意識の向上	B
2	子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの一体化に向けた取組の推進	B
3	子育て世帯の経済的負担の軽減による健全な児童育成環境づくりの推進	A
4	認定こども園開園に向けた準備と就学前教育・保育カリキュラム運用の充実	B
5	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくりの推進	B
6	障害の有無に関わらず、誰もが健康で安心して暮らせる地域づくりの推進	A
7	地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進と生活困窮者支援の拡充	B
8	福祉サービスを提供する事業所の適正な運営の確保と質の向上	B

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 1	健康づくり事業の活性化と市民の運動習慣の定着等を目指した健康管理意識の向上
--------	---------------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	令和2年度に健康プロジェクトチームを設置し、健康づくり事業の活性化と市民の健康づくり活動を支援する仕組みを構築します。 また、予防医療の必要性の啓発と市民の自主的な健康活動を促進します。
---------------------	--

活動目標
健康づくり施策として、市民への運動習慣の動機付けを行い、運動教室等に参加する市民が継続して活動できるよう、教室の内容の充実を図り、健康無関心層へのアプローチに取り組めます。
予防医療の必要性を市民に啓発するとともに、特定健診やがん検診の受診を勧奨します。 国保事業では健全運営を基盤に、特定健診と人間ドックの受診を勧奨します。

具体的な取組実績
健康づくりプロジェクト会議(4回開催)において、新規事業や教室内容などの見直しの検討を進め、その中で、コロナ禍における運動教室「自宅でできるオンライン運動プログラム」を事業化しました。 また、セレクトウェルネスの教室を新たに追加するなど、新規参加者の獲得に向け取り組みました。
特定健診やがん検診、人間ドックの受診について、市の広報誌やウェブサイトにて、周知啓発を図りました。特に、特定健診については、未受診者8,283名に、はがきや文書を送付し受診勧奨しました。 また、新型コロナウイルス感染症対策につきましても、国・大阪府の方針に沿って、市全体で必要な対策を講じました。

達成目標
運動教室の内容の充実により、参加する市民が継続して活動できる事業や健康無関心層へのアプローチなど、プロジェクトチームにて事業化を図ります。
特定健診とがん検診の同時受診の事業化を定着させ、受診率を向上させます。

達成状況	達成度
セレクトウェルネス教室では、85名の方の新規参加など、多くの方に参加いただきました。また、新たな試みのオンラインによる健康教室の事業化を達成し、令和3年3月14日現在247名の参加があるなど、運動の継続や始める機会の提供が一定充実できたものと考えます。	B 概ね達成
特定健診受診券送付時に、大腸がん検診の申込書の付いたリーフレットを同封するなど、同時受診の対策を新たに実施しました。 しかしながら、特定健診とがん検診の受診率は、現時点で、新型コロナウイルス感染症の影響から、前年度を下回っています。	C 一部達成

総合評価・総括
健康づくり施策の充実のため、健康プロジェクトチームを立ち上げ、「健康づくりはまちづくり」をコンセプトに事業内容や新たな方法を模索し、検討を重ねてまいりました。その中で、新たな取組みとして「自宅でできるオンライン健康プログラム」を事業化しました。今後も、既存事業の課題や見直しを行いながら、新たな取組みも開発するなど、健康づくり施策の充実を図ってまいります。 また、特定健診やがん検診の受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響から前年度を下回っていますが、予防医療は、市民の疾病予防と健康づくりに寄与し、ひいては、医療費の適正化にも繋がるものと考えますので、引き続き、その必要性の啓発と受診の勧奨に努めてまいります。

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 2	子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの一体化に向けた取組の推進
--------	--

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	新たに設置した「拠点」と「センター」の円滑な運営に加え、今後の一体化を念頭に役割を整理し、妊産婦や子ども及び対象となる家庭に対する切れ目のない支援体制を確立します。
---------------------	--

活動目標
支援を要する妊産婦や子育て家庭等を対象に、拠点では、相談や訪問等によるソーシャルワークを行います。センターでは、妊娠期から乳幼児期まで包括的な支援プランを作成し支援します。
拠点とセンターの職員が連携を密にし、専門職のスキルを活かした情報等をそれぞれ共有して、より効果的な支援ができる体制づくりを進めます。

具体的な取組実績
支援拠点では、令和3年2月末現在175件の相談・対応を行い、また、通告等による調査、訪問及び関係機関との連絡調整を行いました。令和3年2月末時点、要保護児童59人、要支援児童（特定妊婦含む）40人。 包括支援センターでは、妊娠届出時に保健師等の面接を行い、作成した支援プランに沿って、妊娠期間中の支援を行いました。令和3年2月末現在301件の相談支援を行い、必要時は関係機関と連携を図りました。
要保護児童対策地域協議会実務担当者会議を毎月開催し、児童等の支援について各関係機関と協議を行いました。また、養育支援訪問事業については、支援拠点・包括支援センター・子育て支援センター「スキップKIDS」による連携会議を毎月行い、進捗状況や支援方策の確認を行いました。

達成目標
支援を要する妊産婦や子育て家庭等が、専門的な相談や情報提供、訪問等により、継続的な支援を受けることにより、切れ目のない支援が受けられる環境をつくります。
拠点とセンターが一体的な運営を前提として連携することで、それぞれの専門的な視点を踏まえた総合的な支援体制を整えます。

達成状況	達成度
支援拠点・包括支援センターが相談、通告等を受けた場合に、連携を行い、情報共有のつえ支援が行えるように、随時協議を開催できる体制が整いました。	B 概ね達成
これまでも横の連携を課題に取り組んできたが、協議等を定例化することで、繋がりが深まり、対象家庭への訪問の仕方やアプローチ方法などにおいて、それぞれの専門性を活かした支援を総合的に実施できるようになりました。	B 概ね達成

総合評価・総括
今年度においては、従来からの業務である、児童等の家庭支援と母子保健等について、新たに支援拠点と包括支援センターの業務として位置づけ、これまでの関係性を活かして連携し、共通する支援対象について対応できました。ただし、両機関の執務場所が離れているため、電話による連携が主になっており、不在時など連携が取りにくいこともありました。 令和3年度は、新庁舎へも子育て世代包括支援センターの機能が配置されることから、随時ケース会議を開きアセスメントをすることができるようになり、それぞれの専門性を活かしたアドバイス等が今以上に実施できるものと考えております。

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 3	子育て世帯の経済的負担の軽減による健全な児童育成環境づくりの推進
--------	----------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	健全な児童育成環境づくりを目指し、こども医療費助成を拡充するとともに、ひとり親家庭等における養育費を確実に受け取ることができる枠組みを整え、子育て世帯の経済的負担を軽減します。
---------------------	--

活動目標
こども医療費助成の対象年齢を18歳まで拡大し、対象世帯への新たな医療証の発行、及び医療機関等への周知、並びにシステム改修を行います。
養育費について、保証会社との保証契約締結に要する費用のうち、保証料として本人が負担する費用を助成するため、大阪府と連携を図りながら、制度を構築します。

具体的な取組実績
助成対象を18歳までとするようシステム改修した上で、すでに年齢が到達し助成対象から外れていて、今回、再び対象となる子どもがいる世帯に対しては、通知文書及び新たな医療証を作成し、令和2年10月から制度を利用できるよう送付しました。
制度が国の交付金事業に位置付けられたことから、その事業設計を踏まえて、市の助成事業として構築しました。

達成目標
対象世帯がスムーズに医療機関を受診でき、助成を受けられるよう、制度の運用を開始します。
ひとり親家庭等が養育費を確実に受け取れる枠組みを整えます。

達成状況	達成度
予定通り10月から制度の運用を開始することができました。特に、すでに15歳を超えている受給者に対しては、制度開始に間に合うように医療証を交付できました。	A 達成
ひとり親家庭を支援する新たな助成制度を実施することができました。	A 達成

<b>総合評価・総括</b>
<p>こども医療費助成については、15歳を超えている対象の方には10月の助成開始に間に合うように医療証を送付し、15歳以下の受給中の方には、有効期限を更新した医療証を新たに送付することで、いずれも混乱なく制度の運用を開始することができました。</p> <p>養育費の保証促進助成金につきましても、国の助成制度に基づく制度構築により、10月から開始することができました。</p> <p>両制度の実施により、子育て世帯の経済的負担のさらなる軽減につながることから、より一層「子育てしやすいまち」として、市の内外から認知していただければと考えています。</p>

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 4	認定こども園開園に向けた準備と就学前教育・保育カリキュラム運用の充実
--------	------------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	柏原市子ども未来プラン（第2期）に基づき、幼児教育と保育の総合的な提供を行い、幼児教育・保育の質の向上を図るとともに、小学校教育への円滑な接続に向けた取組を進めます。
---------------------	---

活動目標
幼保連携を推進し、認定こども園開園に必要なハード面及びソフト面における準備を進めます。
就学前教育・保育カリキュラムの市内全施設での活用を推進します。

具体的な取組実績
ハード面では、かしわらこども園の建設工事、たまたこども園の改修工事、こくぶこども園の改修に係る設計業務を実施しました。また、ソフト面においては、認定こども園化する施設の所長、園長、所長補佐等の職員による準備会議を週1回開催し、保育の内容等について検討を重ねました。
公立と民間、幼稚園と保育所、市内の全ての教育・保育施設の職員が「カリキュラム研究会」に参加して学んだ内容を踏まえ、その結果やスキルを、持ち寄り、振り返る、往復型の研修を、それぞれの施設において園内で実施しました。

達成目標
整備を完了し、令和3年4月1日に市内3地区で認定こども園を開園します。
カリキュラムを市内全就学前教育・保育施設に浸透させ、教育・保育の質の向上につなげます。

達成状況	達成度
ハード面の整備はすべて計画どおりに進めることができました。またソフト面の準備についても、保育内容等の整理が概ね完了しました。なお、堅下幼稚園の就園児数減に伴い、堅下保育所の認定こども園化が決定し、4地区で認定こども園を開園することになりました。	A 達成
各教育・保育施設が園内でカリキュラムに即した研修を実施したことにより、「こどもの理解と評価」を行い、指導計画の改善を図ることができました。	B 概ね達成

総合評価・総括
新型コロナウイルス感染拡大の影響による工事の遅れが懸念されましたが、ハード面の整備はすべて年度内に完了する見込みです。ソフト面の準備会議についても感染予防に努めつつ、話し合いを重ねることで、保育内容を中心とした基本的事項の整理を行うことができました。令和3年4月からは実際に各地域で公立の認定こども園が開園しますが、これまでの幼稚園、保育所の子どもたちがスムーズにこども園での生活に慣れると共に、より質の高い教育・保育が提供できるよう、職員が一体となって取り組んでまいります。また、柏原市就学前教育・保育カリキュラムについても、市内のいずれの施設においても実践できるよう、引き続き民間施設も含めて、研究を続けてまいります。

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 5	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくりの推進
--------	----------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	高齢者が、地域で生きがいを持って暮らすことができるよう、介護予防・重度化防止の充実に取り組むとともに、医療と介護の切れ目のない連携支援体制を構築します。
---------------------	--

活動目標
在宅医療と介護連携を推進しようとする事業者をプロポーザル方式で募集します。
高齢者の介護予防・健康づくりと高齢者同士の互助を推進するため、活動手法の指導助言や活動場所確保の支援を通じて地域介護予防活動の育成に取り組みます。

具体的な取組実績
柏原市医師会、歯科医師会、薬剤師会に対し、在宅医療・介護連携推進事業に関する周知を実施した上で、同事業実施者をプロポーザル方式で公募しました。
介護予防活動の通いの場を訪問し、定期的に活動状況及び参加者の身体状況を把握しました。また、月1回以上の頻度で活動している団体に対し、活動費助成の案内を行ないました。

達成目標
在宅医療と介護連携を推進する事業者を前年度より増やします。
百歳体操を定期的に取り組む団体数を前年度より増やします。

達成状況	達成度
前年度は、柏原市歯科医師会による1事業のみでしたが、今年度は、3事業者（柏原市医師会、歯科医師会、薬剤師会）による4事業の応募があり、実施できましたので、在宅医療と介護連携のさらなる推進を図ることができました。	A 達成
今年度から新規に取り組む団体は、ありませんでしたが、月1回以上活動する団体への活動費助成の実績については、前年度の11団体から、今年度は22団体へと、定期実施する団体が増加しました。	B 概ね達成

総合評価・総括
在宅医療・介護連携推進事業の実施者（団体）が増加し、それぞれの事業の実施を介して、各関係団体間の連携についての進捗が図られました。 また、新型コロナウイルス感染症が流行する中、通いの場で定期的実施する団体が増え、地域での介護予防活動が少しずつ充実しています。

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 6	障害の有無に関わらず、誰もが健康で安心して暮らせる地域づくりの推進
--------	-----------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	障害者計画並びに第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画に基づく事業を展開します。 さらに、次期計画を策定し、地域の実情に応じた障害福祉施策を推進します。
---------------------	---

活動目標
在宅障害者に対する緊急時受入施設確保業務をはじめ、第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画に基づく各事業を実施するとともに、策定委員会を組織し、次期計画を策定します。
手話言語条例施行に伴い、市民及び事業者への啓発を目的にパンフレットを作成します。 また、聴覚障害者を含めた講師団を編成し、学校園等において手話出前講座を実施します。

具体的な取組実績
現計画に基づき、緊急時受入施設確保業務の供用を開始しました。また、次期計画については、当事者（1300人）へのアンケート調査、障害福祉サービス事業所及び障害者団体へのヒアリング調査を行い、実態とニーズを把握し、策定委員会における審議（4回）等を経て策定しました。
聴覚障害者団体や手話サークルの協力を得て作成した啓発パンフレットを、本庁及び公共施設に設置するとともに、小中学校の全児童・生徒に配布しました。また、聴覚障害者と手話通訳者で編成した講師団を小学校3校（受講者数290名）へ派遣し、手話出前講座を実施しました。

達成目標
現計画の進捗管理を行い、掲げた目標を達成します。 また、令和3年度からの事業を計画的かつ効果的に実施できるよう次期計画を策定し、これを年度内に公表します。
啓発パンフレットにより、手話への理解と普及を促進します。 また、出前講座を通じて児童及び生徒等が手話を学ぶとともに、聴覚障害者と接することにより、障害者への理解をより深めます。

達成状況	達成度
緊急時受入施設確保業務の実施により現計画に掲げた地域生活支援拠点等の整備が完了しました。また、実態とニーズ等の調査結果等を踏まえ、策定委員会における活発な議論を経て、本市の実情に応じた次期計画を策定しました。	A 達成
啓発パンフレットを全小中学校に配布したことにより、児童・生徒のみならず、保護者の中にも手話に興味を持ち、手話教室受講の問い合わせをいただきました。また、手話出前講座において、聴覚障害者に接することにより、児童の障害についての理解促進が図られました。	A 達成

総合評価・総括
<p>供用開始した緊急時受入施設確保業務は、潜在的ニーズはあると考えられますが、実際の利用は1件に留まりました。</p> <p>また、次期計画の策定にあたっては、当事者、障害者団体、障害福祉サービス事業所へのアンケート調査等を行い、実態やニーズ、さらに新型コロナウイルス感染拡大への不安や状況等を把握したうえで、4回に及び策定委員会を開催し審議しました。令和3年度からは、新計画に基づく障害福祉サービスを提供し、計画目標の達成に努めます。</p> <p>手話の啓発パンフレット配布や出前講座の開催は、手話への興味や聴覚障害者への理解という点において、一定の成果があったものと考えていますが、出前講座は、引き続き質の向上を図りながら実施したいと考えています。</p>

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 7	地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進と生活困窮者支援の拡充
--------	---------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	地域共生社会の実現に向け、新たな地域課題に計画的に取り組み、とりわけ生活困窮者の諸課題に対する包括的な支援体制を構築するとともに、ひきこもり状態の方々の孤立防止を図ります。
---------------------	--

活動目標
第4次柏原市地域福祉計画策定に向け、現行計画の進捗と課題を検証し、住民アンケート等による分析、各福祉計画と整合性を図り、取り組むべき地域福祉課題や施策目標を検討します。
地域課題を発見するため「地域住民懇談会」を開催し、課題解決の検討を行います。 また、社会的居場所づくり事業補助金を活用し、ひきこもり状態の方々等の居場所を確保します。

具体的な取組実績
第4次柏原市地域福祉計画について、専門的知見を有する関西福祉科学大学や市内のワーキンググループの協力のもと、現行計画の検証やアンケート等の分析を行い、本市の実情に応じた原案を作成し、策定委員会（4回）における審議等を経て策定しました。
市のウェブサイトなどにおいて、令和2年4月～12月にかけて社会的居場所づくり事業補助金の利用者を公募しました。住民懇談会については、新型コロナウイルスの影響を鑑みながら、開催の検討を繰り返しましたが、開催することができませんでした。

達成目標
令和3年3月を期限に、第4次柏原市地域福祉計画を策定します。
モデル地区として柏原と国分の2地区で地域住民懇談会を開催します。 また、社会的居場所づくり事業は、3つの団体・グループの事業開始を決定します。

達成状況	達成度
複雑化した地域福祉課題に取り組むべく、第4次柏原市地域福祉計画では、相談支援体制の充実、地域活動団体やボランティアなどの地域資源の活用、住民の多様な活躍の機会と役割を生み出す地域づくりを施策目標としています。	A 達成
「地域住民懇談会」は、残念ながら開催を見送りました。また、社会的居場所づくり事業については、地域交流サロン「ホットタイム」と子どもの居場所事業「第3の居場所ピティス」の2団体が、補助金を活用した活動を開始されました。	C 一部達成

総合評価・総括
<p>これからの地域福祉のあり方の指針となる「第4次柏原市地域福祉計画」を策定することができましたので、この計画を基に地域福祉に取り組んでまいります。</p> <p>また、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人が集まることを制限する必要があったことから、住民懇談会などの取組において、当初の予定が達成できないまま終了となりました。</p> <p>今後に向けては、新型コロナウイルス感染症の影響のもとで、こうした事業をどう展開するかを課題として捉え、検討を進めていく必要があると考えています。</p>



部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 8	福祉サービスを提供する事業所の適正な運営の確保と質の向上
--------	------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	健全な福祉サービス等が提供されるように、市が指導監督の権限を有する社会福祉法人及び各種福祉サービス事業者に対して適切な運営指導を行います。
---------------------	---

活動目標
社会福祉法人や社会福祉施設等の運営について、必要な助言、指導監査を実施します。
障害者総合支援法、介護保険法等の関係法規に基づき、事業者の指導や監査等を実施します。

具体的な取組実績
→ 保育施設への指導を実施しました。
→ 市内全事業者に対し、集団指導を実施しました。

達成目標
社会福祉法人や社会福祉施設等の健全かつ適正な運営の確保を図ります。
各種福祉サービス事業者に対する集団指導の開催、実地指導等を実施します。

達成状況	達成度
→ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保育施設への指導は書面で実施しました。	B 概ね達成
→ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団指導については資料をweb上に掲載し、事業所には資料確認報告書の提出を求めました。実地指導については実施を見送りました。	B 概ね達成

総合評価・総括
今年度は、新型コロナウイルスの影響により、運営指導を行うのが困難な状況でしたが、可能な範囲で実施しました。また、新型コロナウイルスに関係する業務も多く、例年と違う状況の中、事業者への対応を行いました。今後も、事業者による福祉サービス等の提供がさらに健全なものとなるよう指導・監査等を実施していきます。

## 令和2年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	都市デザイン部
部(局)長	森本 貞男

### 【基本姿勢】

都市デザイン部では、道路、河川、公園等の都市基盤施設について、災害に強いまちづくりを実現するための日常の維持補修による安全確保等だけでなく、計画的な維持補修や長寿命化及び耐震化に取り組み、住宅等の耐震化及び空家等対策の促進を図り、公園や広場、緑地については、自然に親しむ場にするとともに、災害時の一時避難にも利用できるよう、安全で安心な施設として維持保全に努めます。

あわせて、成長と活力及び安全と安心の観点から、柏原市の発展、市民の安全性や利便性の向上を図るために必要なインフラ整備を促進します。

また、交通安全対策として警察や交通安全協会と連携し、交通事故や放置自転車の減少に努め、市民の安全意識の高揚を図るため、啓蒙活動の充実を図ります。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	令和2年度 達成状況
1	住宅・建築物の耐震化の促進	B
2	都市基盤の整備計画の推進	A
3	効果的・効率的な道路整備の推進	B
4	交通安全対策の推進	A
5	計画的及び効果的な維持補修の推進	A
6	市民協働による、みどり豊かなまちづくりの推進と快適で安全・安心な公園、広場とするための維持管理	B
7	空家等の適正管理の推進	A

部名	都市デザイン部
----	---------

重点課題 1	住宅・建築物の耐震化の促進
--------	---------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	大規模な地震から市民の生命・財産を守るため、住宅・建築物の耐震化を促進します。
---------------------	---

活動目標
耐震診断、耐震改修、除却、ブロック塀撤去の補助制度を実施し、耐震化の支援に努めます。
建物所有者に耐震化に対する理解を更に深めて頂くよう個別訪問等を実施し、耐震化の普及啓発に努めます。

具体的な取組実績
耐震化の支援として、耐震診断22戸、耐震改修（補強設計含む）3戸、除却20戸、ブロック塀等撤去12件について補助を実施いたしました。
普及啓発として、広報誌への掲載、啓発チラシのポスティング、個別相談会を実施いたしました。

達成目標
前年度より、耐震診断、耐震改修、除却、ブロック塀撤去の補助制度の利用者の増加を目指します。

達成状況	達成度
前年度との比較では、耐震診断は5戸増、耐震改修は増減なし、除却は4戸増、ブロック塀等撤去は3件減となりました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
補助制度の利用件数について、ブロック塀等撤去補助は前年度を下回る結果となりましたが、耐震診断補助、耐震改修補助、除却補助は前年度以上の結果となり、総数についても目標達成となりました。補助制度の利用者が増加するよう、普及啓発に努めるとともに、制度の見直しについても検討を行いたいと考えます。

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 2	都市基盤の整備計画の推進
--------	--------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	良好な市街地の形成と利便性の向上や交通渋滞の解消を図ります。
---------------------	--------------------------------

活動目標
国道25号の渋滞解消や、地域の利便性の向上などを目指したスマートインターチェンジの設置に向け、西名阪自動車道周辺地区について調査を行います。
国道25号の慢性的な渋滞により発生する地域の課題を整理し、国へバイパス整備の必要性などを訴えかけるため、検討を行います。
柏原駅東地区の交通問題の解消と効果的な土地利用を目指すため、地区構想の策定に向けた交通量調査を行います。

具体的な取組実績
スマートインターチェンジの構造の可否についての検討を行うため、西名阪自動車道周辺地区の測量や概略設計を実施しました。
国道25号の渋滞緩和などを図るため、国道25号のバイパス整備の必要性の検討を行い、国に対し要望活動を実施しました。 また、バイパスの早期事業化及び整備の促進を目的に、令和2年12月24日に、「国道25号大阪柏原バイパス整備促進期成同盟会」を設立しました。
コロナ禍の影響により、正確な交通量の把握が困難だったため、令和2年度での実施を取りやめました。

達成目標
西名阪自動車道周辺地区の測量や概略設計を実施することで、スマートインターチェンジの構造の可否について検討できます。
国道25号の渋滞を避け生活道路を通過する車両の流れや事故の件数などについて調査・検討し、課題の抽出を行い、八尾市と連携を図りながら、バイパス整備の必要性について国に対し要望を行います。
府道大泉本郷線の開通前の柏原駅周辺地区の交通量調査を行うことで、道路網の検討に向けた基礎データの整理ができます。

達成状況	達成度
西名阪自動車道周辺地区の測量や概略設計を実施し、スマートインターチェンジの整備について、構造上設置が可能であることが確認できました。	A 達成
八尾市と連携し、国道25号の慢性的な渋滞により発生する地域の課題を整理し、バイパス整備の必要性について国に対し要望を行いました。 また、沿線自治体である大阪市・八尾市とともに「国道25号大阪柏原バイパス整備促進期成同盟会」を設立しました。	A 達成
コロナ禍の影響により、正確な交通量の把握が困難だったため、令和2年度での実施を取りやめ、令和3年度に実施いたします。	

## 総合評価・総括

西名阪自動車道のスマートインター整備につきましては、令和2年度に実施した調査業務において構造上設置可能であることが確認できました。

国道25号の渋滞対策につきましては、「国道25号大阪柏原バイパス整備促進期成同盟会」を設立しましたので、今後は期成同盟会の活動を軸に国への要望を積極的に行ってまいります。

なお、コロナ禍の影響により実施できなかった「柏原駅周辺地区の交通量調査」については、令和3年度に実施いたします。

※ コロナ禍の影響により実施できなかった「柏原駅周辺地区の交通量調査」に係る達成度については、評価はしていません。

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 3	効果的・効率的な道路整備の推進
--------	-----------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	道路整備や改良により、円滑な交通及び通行の安全性を確保するとともに、歩行空間のバリアフリー化を目指します。
---------------------	---

活動目標
上市法善寺線は、都市計画道路大県本郷線の完成後、交通量の増加が見込まれることから、スムーズな交通環境を確保するため、接道交差点部の整備に必要な用地取得、工事を進めます。
雁多尾畑地区の交通の安全や農業振興を目的に、整備が完成した市道畑信貴線に引き続き、接道している信貴太平寺線の整備を図るため、工事を進めます。
平成31年3月に策定しました柏原市バリアフリー基本構想（堅下駅・法善寺駅周辺地区）における駅や生活関連経路のバリアフリー化の測量設計を進めます。

具体的な取組実績
上市法善寺線の道路整備に必要な用地確保に向け、用地測量や不動産鑑定評価業務に取り組みとともに用地交渉を進めています。 また、道路整備工事に取り組んでいます。
コロナ禍の影響により、工事発注が困難であったため、発注に遅れが生じ、工事期間が年度内に収まらないため、事業計画を見直し、令和2年度での実施は行いませんでした。
柏原市バリアフリー基本構想に基づき、堅下駅・法善寺駅のバリアフリー化について、事業主体である近畿日本鉄道と協議し、測量設計を進めました。

達成目標
接道交差点部の整備を行うことで、安全で円滑な交通環境及び市民の安全・安心が確保できます。
信貴太平寺線の道路拡幅の整備を行うことで、大型車両と一般車両の相互通行の安全確保や、農業生産の向上が図れることになるとともに、奈良県側から里山公園へのアクセス路になります。
堅下駅、法善寺駅や周辺施設への生活関連道路において、誰もが利用しやすい環境となるバリアフリー整備の推進が図れます。

達成状況	達成度
道路整備に必要な用地確保について、土地開発公社より1件の買戻しを行いました。 また、延長110mにおける歩道設置及び車道部の舗装工事が完了しました。	C 一部達成
コロナ禍の影響により事業計画を見直し、令和2年度での実施は行わず、令和3年度に実施いたします。	
堅下駅・法善寺駅のバリアフリー化の測量設計を行いました。来年度より工事に着手いたします。	A 達成

## 総合評価・総括

上市法善寺線は、東側の110mにおいて、歩道及び車道が完成しました。大阪府が事業中である都市計画道路大泉本郷線との供用開始に合わせ、交通の円滑化、通学路の安全確保などの事業効果を早期に発揮する必要があると考えます。

信貴太平寺線は、計画の見直しにより、来年度より工事に着手し、計画的に進捗を図ってまいります。

堅下駅・法善寺駅のバリアフリー化事業は、事業主体である近畿日本鉄道と令和3年度より工事に着手するよう協議を行っています。

※ コロナ禍の影響により実施できなかった「信貴太平寺線整備事業」に係る達成度については、評価はしていません。

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

**重点課題 4 交通安全対策の推進**

全体の達成度

A

達成

目指すべき方向  
(中期的な目標)

①通学路の安全・安心の確保のため、点検を継続的に実施するとともに、対策実施後の効果把握を行い、対策の改善及び充実を図ります。  
また、これらの取組を「PDCA」サイクルとして繰り返し実施し、通学路等の安全・安心の確保及び向上を図ります。  
②柏原市内において、交通事故ゼロ、また、自転車等放置禁止区域において、自転車等の放置台数ゼロを目指し、啓発活動に取り組んでいきます。

**活動目標**

令和元年度に策定した交通安全総合整備計画に基づき、関係機関と協議し、令和2年度の対策箇所について、詳細設計を行うとともに、整備工事を進めます。

交通安全キャンペーン、ホームページ、フェイスブック、市広報誌等を活用した啓発活動や、市内保育所、幼稚園、小学校等において交通安全教室の実施、また、放置自転車対策として、放置自転車等街路指導などを行います。

**具体的な取組実績**

交通安全総合整備計画に基づき、関係機関と協議し、優先順位が上位の4小学校区において詳細設計を行い、その後、3小学校区においてグリーンベルトや交差点カラー化などの路面標示工事に取り組みました。  
なお、1小学校区は来年度にグリーンベルトや交差点カラー化などの路面標示工事に取り組みます。

コロナ禍でキャンペーンや交通安全教室等の啓発活動の実施が困難でありましたが、ホームページ・広報かしわらを活用し、交通安全啓発に努めました。  
放置自転車対策としては、街路指導等啓発活動を強化しました。

**達成目標**

対策工事を行うことで、通学路等の安全・安心の確保が図れます。

市内交通事故発生件数の減少、また、放置自転車等の撤去台数の減少を目指します。

達成状況	達成度
通学路において、グリーンベルトによる歩行空間やカラー化された交差点が明確となり、安全・安心の向上、確保が図られました。	A 達成
交通事故発生件数につきましては、昨年と比較し、37件減少しました。また、放置自転車等の撤去台数につきましては、昨年度と比較し、66件減少しました。	A 達成

**総合評価・総括**

策定しました交通安全総合整備計画に基づき、残りの小学校区においても、計画的に整備を進めていき、整備後における効果の把握も行う必要があると考えます。  
また、路面標示などのハード対策とキャンペーンや交通安全教室などのソフト対策が連動することにより、交通安全に対する大きな事業効果を期待しています。



部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 5	計画的及び効果的な維持補修の推進
--------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	道路、橋りょう等の維持管理については、計画的な維持補修及び長寿命化に取り組むとともに、点検パトロールの強化や破損個所の緊急的な補修対応により、通行の安全確保や利便性の向上を図ります。
---------------------	---

活動目標
一級河川大和川及び国道25号を跨ぐ国分寺大橋は、柏原市地域防災計画において、地域緊急交通路に位置付けられている路線上の重要な橋であり、ライフサイクルコストの低減と長寿命化及び防災上の安全と安心のため、橋りょう長寿命化計画に基づく修繕と大規模地震に備えた耐震補強工事を行います。
道路の舗装・維持補修については、舗裝修繕計画に基づき、計画的な補修を行います。 河内国分駅東口の横断歩道橋については、路面や階段などの損傷が進行していることから、横断歩道橋の長寿命化修繕計画に基づいて、補修工事を行います。
近年、気候変動により、夏場は酷暑が続いていることから、大阪府の「都市緑化を活用した猛暑対策」の補助金制度を活用して、河内国分駅東口駅前広場の市内循環バスの停留所において、真夏の猛暑の中で、バスを待たれる方に、少しでも涼しさを感じていただけるように、駅前広場猛暑対策工事を行います。
点検パトロールや市民の方からの通報により、道路面、道路肩の破損、陥没等を発見、または確認した場合は、事故発生防止のため、緊急的な補修等を行うなど、迅速に対応を行います。



具体的な取組実績
一級河川大和川及び国道25号を跨ぐ国分寺大橋につきまして、昨年度に引き続き、橋りょう長寿命化計画に基づき、橋脚損傷部の修繕と大規模地震に備えた橋脚の耐震補強工事を行いました。
道路の舗装・維持補修については、舗裝修繕計画に基づき、市道石川東線の舗装補修工事を行いました。 また、河内国分駅東口の横断歩道橋については、路面や階段などの損傷が進行していることから、横断歩道橋長寿命化計画に基づき、令和2年度より補修工事に着手し、通路面の補修や排水管取替え工事を行いました。
駅前広場猛暑対策工事については、大阪府と「都市緑化を活用した猛暑対策」の補助金について協議を重ねた結果、2箇所分の補助金を確保できたことから、この補助金を活用し、河内国分駅東口駅前広場とJR柏原駅西口駅前広場の市内循環バスの停留所2箇所、真夏の猛暑の中でバスを待たれる方に、少しでも涼しさを感じていただけるように、遮熱性の日除けや微細ミストの発生装置の設置などの猛暑対策工事を行いました。
点検パトロールや市民の方からの破損等の通報に伴い、現地確認や調査を行い、通行の安全確保を最優先に考え、補修工事を行いました。2月末時点で約100箇所の道路面や道路肩等の補修を実施しており、今後も迅速な対応を行います。

達成目標	達成状況	達成度
<p>国道25号から国分寺大橋を渡り本堂高井田線青谷交差点に繋がる東条青谷線は、柏原市地域防災計画において、地域緊急交通路に指定されており、国分寺大橋の耐震補強を行うことで、大規模災害時の救命救助活動や支援物資の輸送等に、重要な役割を果たすことができます。</p>	<p>国分寺大橋は、一級河川大和川の河川区域内の工事となるため、非出水期（11月1日から5月31日まで）にしか工事が出来ない制約があることから、複数年に跨る工事となります。 4工区として、昨年度に発注しました下部工橋脚1箇所の修繕及び耐震補強工事が完了し、また5工区として、下部工橋脚1箇所の修繕及び耐震補強工事に着手し、早期の完成を目指します。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">達成</p>
<p>道路の舗装においては効率的な舗装維持管理の実施により、安全で円滑な交通環境の確保及び市民の安全・安心が確保できます。 河内国分駅東口の横断歩道橋の補修工事を行うことにより、歩行者の安全な通行が確保できます。</p>	<p>道路の舗装補修については、舗装修繕計画に基づき、市道石川東線の道路補修工事を行ったことにより、安全で円滑な交通環境の確保、市民の安全・安心が確保できました。 また、河内国分駅東口の横断歩道橋においては、損傷が進行していた通路面や排水管の補修工事を行ったことで、歩道橋の通路面がきれいになり、そして、利用される歩行者の安全な通行を確保できました。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">達成</p>
<p>今年度、河内国分駅東口の駅前広場猛暑対策工事を行うことで、夏場の猛暑時には、その対策により、涼しさを感じていただけるようになり、駅前広場の快適性の向上が図れ、熱中症の発症リスクを軽減できます。</p>	<p>河内国分駅東口の駅前広場、及びJR柏原駅西口の駅前広場の市内循環バスの停留所において、猛暑対策工事を行ったことにより、令和3年度の真夏の猛暑時には、その対策により、涼しさを感じていただけるようになり、快適性の向上が図れ、熱中症の発症リスクを軽減することに繋がるものとなります。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">達成</p>
<p>道路の破損等について緊急的な補修等を行うことで、車両及び歩行者の安全な通行が確保できます。</p>	<p>緊急的に補修等を行うことで、車両及び歩行者の通行の安全を確保しております。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">達成</p>

総合評価・総括
<p>道路、橋りょう等の維持管理については、「舗装修繕計画」、「橋りょう長寿命化計画」及び「横断歩道橋の長寿命化計画」に基づき、今後も計画的な維持補修に取り込んでいきます。 また、日常のパトロールや市民からの通報等による道路の破損等については、迅速に対応し、通行の安全性の確保や利便性の向上を図っていきます。</p>

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 6	市民協働による、みどり豊かなまちづくりの推進と快適で安全・安心な公園、広場とするための維持管理
--------	---

全体の達成度

B

目指すべき方向 (中期的な目標)	公園、広場、緑地については、安全で快適な地域のインフラとして、地域住民の皆様にご愛着を持っていただくとともに、市民の皆様にとって憩いとやすらぎをもたらす、また、交流が生まれる場となるように目指します。
---------------------	--

概ね達成

活動目標
緑地や公園などにおいて、市民の方々との協働による草花の植栽などを呼びかけ、みどり豊かなまちづくりを進めます。
市立玉手山公園においては、老朽化の著しいトイレの改修や園内の案内マップ看板の更新、並びに展望台のパノラマ看板の更新などを行います。 また、市内の公園においては、経年劣化が進行している大正公園の遊具の修繕工事を行うなど、公園の維持管理として、遊具施設の点検及び補修並びに樹木の剪定などを行います。

具体的な取組実績
広報誌による季節の花苗配布の呼びかけを行い、地域への花苗配布を実施しました。(春：コロナ禍の影響により中止、秋：3,080株・26団体) 協働緑地でも、市民と協働で草花の植栽等を年間7回実施しました。
市立玉手山公園トイレの改修及び園内案内マップ看板、展望台パノラマ看板の更新は、コロナ禍の影響により財源となる大阪府の補助金事業に影響があり、実施できませんでした。なお、経年劣化の進む複合遊具等の修繕を行ったほか、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、ちびっこゲレンデでは、安全防具を使用の都度消毒するよう取り組みました。 市内公園については大正公園の遊具修繕を行なったほか、ベンチ、テーブル等の修繕や遊具点検(102公園、317基)、砂場殺菌(34箇所)、樹木剪定(80箇所)、街路樹剪定(13箇所)大和川河川敷芝生管理等を実施しました。 また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、啓発看板の設置や広報車によるアナウンス等の啓発活動を行いました。



達成目標	達成状況	達成度
<p>公園や緑地において、地域の方々との協働で、草花の植栽によるみどり豊かなまちづくりを進めることで、地域の皆様に憩いとやすらぎをもたらし、また、地域に密着した公園の草抜きやごみ拾いなどの簡易な清掃作業を呼びかけることにより、地域住民に愛着を持っていただける公園、広場、緑地となります。</p>	<p>季節の花苗配布では、多くの団体に草花の植栽をしていただきました。地域に密着した公園は、地域住民に愛着をもらっていただける公園になるよう、草抜きやゴミ拾いなどの簡易な作業については、地域の方々との協働による維持管理を呼びかけて、ご協力を頂いておりますが、地域の方々の高齢化などの課題もあります。このような状況の中で、今後も地域住民に愛着を持っていただけるように、子育て世代などの若年層にも協力してもらえるように働きかけてまいります。</p>	<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p style="text-align: right;">概ね達成</p>
<p>市立玉手山公園においては、トイレの改修や園内の案内マップ看板の更新を行うことで、快適に、また、安全に安心して利用していただけます。</p> <p>また、市内の公園においては、大正公園の遊具の修繕など、公園施設の点検及び補修、樹木の剪定などを行うことで、安全・安心な公園として、市民の方々に安全に、快適に利用していただき、憩いとやすらぎをもたらし、また、交流が生まれる場となります。</p>	<p>市立玉手山公園においては、コロナ禍の影響により、トイレの改修及び園内案内マップ看板、展望台パノラマ看板の更新は、実施することは出来ませんでした。園内の経年劣化の進む複合遊具等の修繕を行うことや、コロナ禍においてちびっこゲレンデの安全防具の消毒対策を整えたことで、安全に利用していただけるように取り組みました。</p> <p>また、市内の公園においては、大正公園の遊具の修繕のほか、市内各公園の定期的な日常点検とともに、遊具やベンチの修繕、草刈清掃、あるいは樹木の剪定、危険木の伐採などにより安全に安心して利用していただき、憩いとやすらぎ、交流をもたらす場となるように取り組みました。</p> <p>なお、公園での新型コロナウイルス感染拡大防止のため、啓発看板の設置、広報車によるアナウンス等啓発活動を行うことで、公園を安全に利用していただけるように取り組みました。</p>	<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p style="text-align: right;">概ね達成</p>

総合評価・総括
<p>倒木などの恐れのある高木の処理や老朽化した遊具の修繕など、緊急的な対応を迫られる事態が発生したが、限られた人員と予算の中、市内公園のパトロールを強化するなど管理水準を極端に落とすことなく維持管理を行うことができました。</p> <p>今年度予定していた玉手山公園活性化事業については、コロナ禍の影響により実施出来ませんでした。令和3年度以降の実施に向けて、取り組んでまいります。</p>

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 7	空家等の適正管理の推進
--------	-------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	柏原市空家等対策計画に基づき、今後も増加すると予想される空家等について、適正管理の促進に努めます。
---------------------	---

活動目標
実態調査により把握した管理不全の空家等について、啓発文書の送付や法に基づく助言・指導等を継続して行い、適正管理の促進に努めます。



具体的な取組実績
3ヶ月に1度の定期調査を実施し、管理不全と判断した空家等の所有者に対し、適正管理についての啓発文書を送付しました(計64通)。 11件に対して、空家法第12条に基づく助言を実施しました。



達成目標
管理不全の空家等の低減を目指します。



達成状況	達成度
管理不全の空家等22戸が、管理や除却によって解消されました。	A
	達成

<b>総合評価・総括</b>
<p>啓発文書の送付や助言等を行うことにより、22戸の管理不全の空家等が解消されましたが、市内にはまだ多くの空家等が存在するため、今後も継続して空家等の適正管理の促進に努めます。</p> <p>また、新たな空家等が発生しないように、建物所有者への啓発活動を実施し、空家問題に対する意識の向上を図りたいと考えます。</p>

## 令和2年度各部署の重点課題の取組結果

部(局)	会計管理室
部(局)長	小林 由幸

### 【基本姿勢】

会計管理者は、予算を執行する機関に対して、内部けん制する権限が与えられており、また、会計管理室は、会計管理者の補助機関として、公金の収入・支出及び保管、支出負担行為の確認、決算の調製など会計管理者の権限に属する出納事務を担当しています。

そのため、出納事務の執行に当たっては、法令等に基づき、予算執行が適正に行われているかを厳正に審査し、適正かつ迅速な出納事務の執行と公金の適正管理に努めてまいります。

また、社会経済状況の影響を受ける公金運用については、安全確実かつ有利な方法で行います。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	令和2年度 達成状況
1	適正かつ迅速な出納事務	A
2	公金の適正管理及び運用	A
3	指定金融機関等の検査の実施	A

部名	会計管理室
----	-------

重点課題 1	適正かつ迅速な出納事務
--------	-------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	公金の収入・支出が法令等に基づき、適正に執行されるよう厳正な審査を行うことで、さらなる信頼性の高い市政の確立を目指します。
---------------------	---

活動目標
支出命令書の作成等を法令等に基づき審査し、適正かつ迅速な支払い事務を行います。
審査の結果、書類不備等がある場合、各課の担当者に対して助言・指導を行うことで、適正な出納事務を行います。

具体的な取組実績
審査において、常に担当者間での確認事項や情報共有の徹底を図りました。
各課の事務処理に誤りや添付書類の不備などがある場合は、速やかに是正し、今後繰り返すことがないよう助言・指導を行いました。

達成目標
審査事例の検証を行うことで、会計管理室の職員の審査能力の向上を図り、より一層適正かつ迅速な出納事務を行います。

達成状況	達成度
関係法令や財務実務書類等による審査事例の検証を情報共有し、また、近隣市の実務担当者会議は、コロナ禍の影響により開催が見合わせれましたが、書面による質疑応答の集約により審査能力の向上が図られ、より一層適正かつ迅速な出納事務を行いました。	A 達成

<b>総合評価・総括</b>
会計事務は、業務範囲が広く、幅広い知識が必要です。そのため、日々の自己研鑽や近隣市事務担当者間との情報共有により審査能力の向上が図られ、各課の誤りや不備のある事務処理に対して、必要な助言・指導を行うことでより一層適正かつ迅速な出納事務の執行に努めました。

部名	会計管理室
----	-------

重点課題 2	公金の適正管理及び運用
--------	-------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	公金の管理及び運用においては、安全確実かつ有利な方法により管理し、効率的な資金運用を行います。
---------------------	---

<b>活動目標</b>
歳計現金において、収支見込を把握して資金が不足しないように確保し、余裕資金が生じた際には、定期預金での運用を行います。
基金については、歳計現金への繰替運用と基金を一括した定期預金での運用を行います。

<b>具体的な取組実績</b>
日々の収支状況と過去の収支実績を踏まえた収支状況表で収支予測を立て、歳計現金の運用可能額を見据え、余裕資金を定期預金での運用を行いました。
歳計現金への繰替運用と一部の基金を除いた基金を一括して、定期預金での運用を行いました。

<b>達成目標</b>
公金の運用については、金融機関での運用を基本に、利率照会による競争原理の活用により、確実かつ効率的な運用に努めます。

<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
過去の実績を踏まえ、4金融機関への利率照会により、安全かつ確実な定期預金での運用を行いました。	A 達成

<b>総合評価・総括</b>
基金を含めた公金については、低金利の中、安全かつ確実な定期預金の方法で適正な管理、運用を行いました。今後も安全性を最優先とし、少しでも効率的な運用方法を模索しながら適性な管理、運用に努めます。



部名	会計管理室
----	-------

<b>重点課題 3</b>	<b>指定金融機関等の検査の実施</b>
---------------	----------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	指定金融機関等に対して、公金の収納や支払い等の事務が適正に処理されているかを確認します。
---------------------	--

<b>活動目標</b>
指定金融機関及び指定代理金融機関において、公金収納の関係帳票等の検査を行います。
収納代理金融機関については、会計管理室への検査書類の提出により検査を行います。

<b>具体的な取組実績</b>
コロナ禍の影響により、毎年11月に実施していた実地検査を、収納代理金融機関検査同様、検査対象期間を9月1日から9月30日までとした検査書類の提出を求め、11月に書類及び電話での聴き取り検査を行いました。
検査対象期間を9月1日から9月30日までとした検査書類の提出を求め、11月に書類及び電話での聴き取り検査を行いました。

<b>達成目標</b>
金融機関に対して、検査を実施することにより、公金収納事務等の適正化が図れます。

<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
検査の結果、特に問題なく適正に処理され、公金収納事務等の適正化が図れました。	A
	達成

<b>総合評価・総括</b>
指定金融機関等の検査については、法により検査する義務が課されていますが、今後も厳正な検査を実施することで、公金収納事務等の適正化を図ります。

## 令和2年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	上下水道部
部(局)長	瀬田 友之

### 【基本姿勢】

上下水道では、「便利で快適に暮らせるまち」の政策目標のもと、良質な水道水の安定供給、適正な生活排水の処理、降雨による浸水被害の軽減などに努めています。

しかしながら、上下水道の事業運営を取り巻く環境は、人口減少等に伴う水需要の減少、施設の老朽化に伴う更新需要の増大、また、近年増加している局地的大雨による浸水被害や台風に伴う災害への対応などにより、年々厳しくなっています。

このような厳しい状況ではありますが、安全で快適な市民生活の達成に向け、効率的、効果的な事業運営に取り組むとともに、以下の事業を進めてまいります。

### 【下水道事業】

①公共下水道整備第7次五箇年計画に基づき公共下水道の整備を進めるとともに、公共下水道計画区域外での浄化槽整備を引き続き進めます。

また、次期五箇年計画となる公共下水道整備第8次五箇年計画の策定を行います。

②浸水対策として老朽化が進む雨水ポンプ場施設をストックマネジメント計画に基づいて更新設計を行います。

### 【水道事業】

柏原市水道事業ビジョン2019～2028の理想像である安全・強靱・持続の実現を目指します。

③老朽化した水道管路の更新(耐震化)を進めます。

④老朽化した施設の更新・改良を進めます。

⑤危機管理対策の強化に取り組み、災害時に必要な資器材の充実を図ります。

### 【達成度について】

A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)

B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)

C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)

D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)

E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	令和2年度 達成状況
1	計画的な生活排水対策	A
2	下水道施設(ポンプ場施設)の更新	A
3	水道施設の耐震化の推進	A
4	水道システムの再構築	A
5	危機管理対策の強化	A

部名	上下水道部
----	-------

重点課題 1	計画的な生活排水対策
--------	------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	第7次五箇年計画に基づく汚水整備及び第8次五箇年計画の策定を行います。
---------------------	-------------------------------------

活動目標	具体的な取組実績
約3haの汚水整備を行います。	古町、旭ヶ丘、田辺地区などを合わせて、約3haの汚水整備が完了する見込みです。
第8次五箇年計画の策定を行うにあたり、効率的な整備範囲の選定を行います。	限られた予算の中、第7次五箇年計画の事業費を維持し、効率よく汚水整備を促進できる整備範囲を選定するとともに、次期五箇年計画以降を見据えた幹線整備も選定することができました。

達成目標	達成状況	達成度
令和2年度末の人口普及率約87.9%を目指します。	約3haの汚水整備により、令和2年度末の人口普及率は、約87.9%を達成する見込みです。	A 達成
第8次五箇年計画を策定します。	これまでの整備状況や課題、事業の優先度等を検討のうえ、第8次五箇年計画を策定しました。 これにより、整備計画を進める準備が整いました。	A 達成

総合評価・総括
<p>公共下水道整備第7次五箇年計画に基づく計画的な汚水整備を進めた結果、人口普及率87.9%となる予定で、計画目標である人口普及率87.6%を達成する見込みです。</p> <p>また、第8次五箇年計画では、汚水整備とともに浸水対策を重要な取組みと位置づけ、未整備地区の生活排水対策と合わせて、市民の生活環境の向上や安全確保する計画となっています。</p>

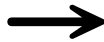
部名	上下水道部
----	-------

重点課題 2	下水道施設（ポンプ場施設）の更新
--------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	ストックマネジメント計画による下水道施設の老朽化対策を進めます。
---------------------	----------------------------------

活動目標
重要度の高い国分第1雨水ポンプ場施設、国分第2雨水ポンプ場施設の更新設計を進めます。



具体的な取組実績
ポンプ場から河川へ強制的に排水する雨水ポンプや流れてきた大きなゴミなどを取り除くスクリーンなどのポンプ場施設の更新設計を進めました。



達成目標
施設の老朽化対策を具体化します。



達成状況	達成度
国分第1雨水ポンプ場の雨水ポンプやスクリーン施設、国分第2雨水ポンプ場の雨水ポンプ施設等の設計結果をもとに、令和3年度から老朽化対策工事（更新工事）を進める準備が整いました。	A  達成

総合評価・総括
<p>ストックマネジメント計画で予定していた更新設計は、予定通り行うことができました。これにより、令和3年度から更新工事を進める予定です。今後も引き続き、浸水対策として、ポンプ場施設の強化を図り、市民の安全確保に努めます。</p>

部名	上下水道部
----	-------

<b>重点課題 3</b>	<b>水道施設の耐震化の推進</b>
---------------	--------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	重要度の高い基幹管路等の路線を優先し、計画的に更新(耐震化)を図ります。
---------------------	--------------------------------------

活動目標
老朽化した水道管路約3.6kmの更新を行います。

具体的な取組実績
老朽化した管路の更新は順調に進捗し、令和2年度末で約4.5kmの水道管路を更新することができました。

達成目標
令和2年度末で管路延長約256kmの内111kmが耐震化され、耐震適合率は43%になります。

達成状況	達成度
令和2年度末で管路延長約256kmの内111kmが耐震化され、耐震適合率は予定通り43%を達成できる見込みです。	A
	達成

<b>総合評価・総括</b>
<p>今年度予定していた老朽化した基幹管路や過去に漏水のあった管路について、予定通り更新することができました。</p> <p>また、この更新により、目標としていた耐震適合率43%は達成できる見込みです。</p>

部名	上下水道部
----	-------

<b>重点課題 4</b>	<b>水道システムの再構築</b>
---------------	-------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	老朽化した電気計装設備について、計画的に更新・改良を行います。
---------------------	---------------------------------

活動目標
ポンプ操作盤、流量計、増圧ポンプの更新を行います。

具体的な取組実績
予定していた玉手浄水場内の配水ポンプ操作盤、平野配水池の流量計、旭ヶ丘地内の増圧ポンプの更新は、すべて完了しました。

達成目標
老朽化した電気計装設備を更新し、安定した水運用を維持します。

達成状況	達成度
老朽化した電気計装設備を更新することにより、故障による断水リスク等が低減し、設備の信頼性の向上が図られました。	A
	達成

<b>総合評価・総括</b>
老朽化した電気計装設備を計画的に更新・改良することで、設備故障による断水などの市民生活への影響を抑制し、水道の安定供給を維持しています。

部名	上下水道部
----	-------

<b>重点課題 5</b>	<b>危機管理対策の強化</b>
---------------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	災害時の応急給水施設・資器材の充実を図ります。
---------------------	-------------------------

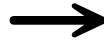
活動目標
災害時に使用する組み立て式 応急給水タンクを避難所に配備 できるように体制を構築します。



具体的な取組実績
災害時に備えた組み立て式応急給水タンクを水道 事業用に1基、避難所用に10基調達しました。



達成目標
災害等により断水が発生した ときの応急給水活動の活動性が 向上します。



達成状況	達成度
応急給水の活動場所となる各避難所 に、組み立て式応急給水タンクの配備を 順次進めており、応急給水活動の活動性 は向上しました。	A
	達成

<b>総合評価・総括</b>
<p>災害時に使用する組み立て式応急給水タンクを11基調達しました。          現在、各避難所で迅速な応急給水活動が開始できるよう、関係部署において、各避難所内の保          管場所を調整し順次配備が進められています。          これにより、災害等により断水が発生した場合の応急給水の活動性は一定の向上が図られまし          た。</p>

## 令和2年度各部署の重点課題の取組結果

部(局)	病院事務局
部(局)長	中川 拓也

### 【基本姿勢】

市立柏原病院では、自治体病院が担うべき地域医療の中心的な役割を果たすとともに、良質な医療の提供を行えるよう取り組んでまいります。

また、医業収益の向上、経費の削減に取り組み、安定した経営基盤の確立に努めてまいります。

### 【達成度について】

A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)

B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)

C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)

D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)

E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	令和2年度 達成状況
1	医療提供体制の充実と患者サービスの向上	A
2	安定した経営基盤の確立	

※ コロナ禍の影響により、重点課題2については、評価はしていません。



局名	病院事務局
----	-------

重点課題 1	医療提供体制の充実と患者サービスの向上
--------	---------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	地域の医療ニーズに即した医療提供体制の構築に努めます。
---------------------	-----------------------------

活動目標
地域の医療機関との連携強化を図ります。
職員の接遇強化に取り組み、患者サービスの向上に努めます。

具体的な取組実績
近隣医療機関(57施設)を対象に郵送によるアンケートを実施しました。 アンケート集計後に予定していた訪問活動については、コロナ禍の影響により実施できませんでした。
患者さんに安心して受診いただくため、年間を通じて新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組(来院者への発熱確認、手指消毒の徹底)を行いました。

達成目標
診療所等からの紹介患者数6,000人以上を目標とします。
市民意識調査の「医療体制」の満足度を前回数値より高めます。

達成状況	達成度
コロナ禍の影響により、地域の医療機関との連携強化のための訪問活動も十分に実施できませんでした。	
(参考) 紹介患者数 今年度 4,403人(令和3年1月末時点) 前年度 4,992人(令和2年1月末時点)	
「医療体制」の満足度 今回 3.18点 前回 3.10点	A
	達成

総合評価・総括
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応を優先した病院運営の1年間となりました。活動目標に掲げていました取組の多くは実行できませんでしたが、感染拡大を防ぐ取組みや発熱者専用外来の開設など、コロナ禍の中当院に求められる医療体制の構築に努めることはできたと考えています。

※ コロナ禍の影響により、達成目標の①(紹介患者数)達成度については、評価はしていません。

局名	病院事務局
----	-------

重点課題 2	安定した経営基盤の確立
--------	-------------

全体の達成度

目指すべき方向 (中期的な目標)	医業収益の増加と経費の削減に努め、資金不足額の減少に取り組めます。
---------------------	-----------------------------------

活動目標
医業収益の向上を図るため、患者数の増加に努めます。
医業費用の削減を図るため、経費の削減に努めます。

具体的な取組実績
令和2年度は、病院の方針として新型コロナウイルス感染症への対応を最優先に取り組んでまいりました。そのため、当院患者数の増加につなげるために予定していました多くの活動は実施できませんでした。
業務を遂行できる複数の業者から見積りを徴取することにより委託料の一部、使用料の削減は出来たものの、新型コロナウイルス感染症に対応するための検体検査等の委託料が増加し目標は達成できませんでした。

達成目標
患者数の増加（新入院患者数の前年度から3%の増加、外来延べ患者数の前年度から5%の増加）
使用料、委託料の削減 (目標額1,500万円)

達成状況	達成度
コロナ禍の影響により減少しました。 (参考) <b>新入院患者数</b> 今年度 2,890人(令和3年1月末時点) 前年度 3,455人(令和2年1月末時点)	
<b>のべ外来患者数</b> 今年度 71,154人(令和3年1月末時点) 前年度 81,567人(令和2年1月末時点)	
(参考) <b>使用料</b> 今年度 約7,300万円(令和3年1月末時点) 前年度 約8,600万円(令和2年1月末時点)	D
<b>委託料</b> 今年度 約44,000万円(令和3年1月末時点) 前年度 約42,100万円(令和2年1月末時点)	
	未達成

総合評価・総括
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症流行による受診控えや不要不急の手術の延期などにより年間を通して患者数は減少し、医業収益は減少。一方、医業支出においては、光熱水費等使用料の削減は図れたものの、委託料は前年度よりも増加する結果となりました。 令和2年度は、医業収益は大きく減少となったものの、新型コロナウイルス感染症への対応に対する補助金の交付を受けましたことから、資金不足額は減少する見込みとなっています。

※ コロナ禍の影響により、重点課題 2の達成度については、評価はしていません。

## 令和2年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	教育部
部(局)長	福島 潔
教育監	岡本 泰典(学校教育担当)

### 【基本方針】

近年、義務教育を取り巻く環境は、急速に変化しています。令和2年4月には小学校、令和3年4月には中学校で新しい学習指導要領が本格実施されます。今回の改定では、「情報活用能力」を「言語能力」と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、これからの社会を生きていく世代にとって「情報活用能力」を身につけることは重要であることが明確にされました。

学校教育におきましては、ICTを活用した授業を進められるよう、必要な機器の整備を行うとともに、教員の指導力を高めてまいります。その上で、今まで大切にされていた学校の教育活動にICTの活用を組み合わせ子どもたちの「生きる力」を育成してまいります。

教育環境の整備につきましては、施設の老朽化や近年の猛暑、大型化する台風の襲来などへの対応を含め、計画的に進める必要があります。災害発生時における市民の指定避難所としての役割を持つ体育館への空調設備の設置をはじめ、ICT機器を通じ、災害等により児童・生徒が登校できない状況を想定し、学校と自宅とを新しい方法で繋ぐシステムの構築など、従来の発想を転換した事業を検討、実施してまいりたいと考えています。

また、生涯教育においては、市民の生涯学習の機会を促進・充実させるとともに、青少年の健全育成活動に努めてまいります。

また、スポーツによる健康増進を図るため、身近な地域で気軽にスポーツを楽しめる機会を充実させるよう取り組みを進めてまいります。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	令和2年度 達成状況
1	知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます。	B
2	情報活用能力を育みます。	B
3	教育機会の均等と確保	A
4	安全・安心な教育環境の整備	A
5	誰もが学びたいときに学べる多様な学習機会と気軽に楽しめる生涯スポーツを提供します。	

※ 重点課題5については、コロナ禍の影響により、事業の進捗に影響が生じ、達成状況の評価はしておりません。

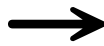
部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 1	知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます。
--------	-----------------------

全体の達成度
B
概ね達成

<p>目指すべき方向 (中期的な目標)</p>	<p>教育委員会、学校、家庭、地域が連携・協働して、以下に取り組めます。</p> <p>①「確かな学力」：「かしわらっ子はぐくみプラン（第2期 柏原市学力向上3カ年計画）」に基づき、新学習指導要領で求められる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」の育成を目指します。</p> <p>②「豊かな心」：教科化された道徳を軸に、人権教育、キャリア教育の充実をとおして、いじめや不登校、問題行動の減少を目指すとともに、夢や志をはぐくむ教育活動の充実を目指します。</p> <p>③「健やかな体」：保健体育や食育の充実により、将来にわたり体や健康に留意し、自己管理できる力の育成を目指します。</p>
-----------------------------	---

活動目標
<p>小学校においては、児童の学力と個性や心の在り様も調査する「かしわらっ子はぐくみテスト」を、中学校においては、学力向上推進講師による放課後学習等を引き続き実施します。</p> <p>更に本年度は学校司書を9名に拡充配置し、読解力の育成と読書環境の充実を図ります。</p>
<p>教職員が確かな人権感覚を持って幼児・児童・生徒たちに、正しい理解と認識を伝えることができるよう、人権問題についての研修等を実施し、真に人権が尊重された社会を担う人間の育成に努めます。</p> <p>また各学校において、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を蓄積していくために「キャリアパスポート」の作成を進めます。</p>
<p>保健体育の授業やクラブ活動、部活動において、繰り返し練習することをとおして、子どもたちが成長を実感し、達成感や充実感が得られるような指導に努めます。</p> <p>また、授業のみならず、行事や休み時間等を使って楽しく体を動かす遊びを取り入れることにより、運動する機会を増やします。</p>



具体的な取組実績
<p>「かしわらっ子はぐくみテスト」については、本年度は小学校3年生から6年生までを対象に12月に実施しました。特に算数が良好な結果であり、ほぼ全学年で全国の標準スコアを超えました。</p> <p>学力向上推進講師による放課後学習は各校での勉強会を1校につき15回程度実施しました。また、英検3級対策講座を10回実施しました。</p> <p>学校司書については、9月より7名を追加して9名体制になり、全小中学校にて学校司書が活用できるようになりました。</p>
<p>人権に関する研修は、新型コロナウイルス感染症の影響で、毎年実施していた夏季フィールドワークは行えませんでした。が、秋季人権研修には、性的マイノリティの理解と対応についてをテーマに、ワークショップを交えた充実した研修が実施できました。</p> <p>キャリアパスポートについては、作成の意図や活用について校長会及び教頭会を通じて丁寧に説明・周知し、本年度は各学校において作成して、次年度へ引き継ぐことができました。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症による臨時休業により、自宅で過ごすことが多かった子どもたちに、体育の授業をとおして、運動の楽しさを実感させることができるよう、体育の指導経験が豊富な指導課の職員が市内3つの学校の研究授業に出向き指導助言しました。</p> <p>また、各中学校の部活動指導の充実と教員へのサポートを目的とした部活動補助支援員10名を7つの学校に配置しました。</p>



達成目標	達成状況	達成度
<p>「かしわらっ子はぐくみテスト」の国語、算数について、昨年以上の平均正答率を達成します。</p> <p>「中学校チャレンジテスト」について、昨年以上の平均正答率を達成します。</p>	<p>「かしわらっ子はぐくみテスト」の平均正答率については、同一児童集団で全国と比較しますと、国語については実施4学年中2学年が、算数については3学年が、昨年度と同値もしくは上回っていました。</p> <p>中学校チャレンジテストの平均正答率については、1年生は実施3教科全てが大阪府を上回り、昨年度よりも良い結果でしたが、2年生では実施5教科中で大阪府を上回ったのは1教科で、同一生徒集団で昨年度と比較しても少し下降傾向でした。</p>	<p>B</p> <p>概ね達成</p>
<p>「かしわらっ子はぐくみテスト」の特定の質問について、昨年以上の肯定的回答を達成します。</p>	<p>「朝食を毎日食べていますか」という質問への肯定的回答は、同一児童集団で比較しますと、実施4学年で全て昨年度を下回り、全国と比べても5、6年生はやや低い傾向でした。</p> <p>「一日の勉強時間を決めていますか」という質問については、3、5年生は昨年度を上回り、5年生については全国を上回りました。</p>	<p>B</p> <p>概ね達成</p>
<p>(活動目標①～③全てについて) 各学校園長の成果報告や、各学校園の子ども、保護者、教員対象の学校評価、市民意識調査の「教育指導」の満足度を前回数値より高めます。</p>	<p>市民意識調査の「教育指導」の満足度について、昨年度より0.12ポイント高めることができました。</p>	<p>B</p> <p>概ね達成</p>

総合評価・総括
<p>確かな学力については、第2期柏原市学力向上3カ年計画を踏まえ、「繋がりのある学び」「ビジョンのある研修」「広がりのある連携」の3つのテーマに基づいて取組みを進めてきました。その結果、正答率の面で小学校では算数で伸びが見られ、中学校では1年生が国語、数学、英語において近年で最も良い成果を残しました。ただし、焦点化して取り組んできた「書く力」については、本年度は課題が残る結果でした。</p> <p>豊かな心については、教科化された道徳に関する実践が各学校において定着してきており、研究授業を道徳で行う教員が増える等、意識の高まりが感じられます。人権教育の面では、新型コロナウイルス感染症に関わる差別事象が起きないように、各学校では様々な教材を用いて、相手の立場に立って考えを深めることができるよう取り組んできました。</p> <p>健やかな体については、新型コロナウイルス感染症への感染防止の観点から、活動が制限されることも多かったのですが、体育大会や球技大会のような体育行事については、複数回に分けることや種目を変更する等の工夫を講じることにより可能な限り実施してきました。</p> <p>本年度の学校園教育は新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度末から数えて3カ月という長期間の臨時休業を経てのスタートとなり、各学校園ではそれまでの遅れを取り戻すために行事の精選や実施方法の変更、夏季休業の短縮等の対策を講じながら教育課程に沿った教育を実施してきました。年度当初に掲げた活動目標や達成目標どおりの成果を上げられなかった部分もありますが、総じて見ますと、このような非常事態の中だからこそ、これまでの取組みを見直し、より実情に応じた教育の推進に向けての一步が進められた1年であったと捉えています。</p>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 2	情報活用能力を育みます。
--------	--------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	①ICT機器の導入を図ります。 ②本年度以降、小学校から順次実施することとなる新学習指導要領に基づき、学習の基盤となる資質・能力と位置付けられた情報活用能力の育成に向けて、新たに整備される機器や情報通信ネットワークを活用した学習活動の充実を図ります。 ③教職員による機器の有効活用を図り、ICT支援員のサポートを受けながら研修や実践交流をとおして指導力の向上に努めます。
---------------------	---

活動目標
柏原市立小学校及び中学校へのICT機器の導入を進めます。
ICTの特性や機能に精通したICT支援員とICT補助支援員を、教育委員会が指定する先行実施校に試験的に配置し、専門性を活かした取組やその効果を配置校だけでなく市全域に発信していきます。
ICT活用推進委員会において、ICTを活用した授業づくりの在り方や研修計画について検討し、ICT教育推進リーダー会議において、各校のリーダーの実践交流等とおして、優れた実践を市全域で共有します。

具体的な取組実績
柏原市立の全小学校及び中学校にICT機器の導入が完了いたしました。
7月と12月にそれぞれ1名ずつのICT支援員を先行実施校に配置し、専門性を活かして教員の授業への支援をはじめ、順次整備した機器の活用についての助言と支援を行いました。ICT補助支援員についても先行実施校に2名配置し、ICT支援員の業務の補佐として学校を支援しました。
新型コロナウイルス感染症の影響で予定どおりには進みませんでした。ICT活用推進委員会を1回、ICT教育推進リーダー会議オンラインにて2回実施し、前倒して整備された機器の有効的な活用についての情報共有を進めました。

達成目標
国の方針に基づき児童・生徒、一人一台の端末を整備します。
「学校における教育の情報化の実態に関する調査」において、特定の項目について目標値を達成します。
(活動目標①～③全てについて)各学校園長の成果報告や、各学校園の子ども、保護者、教員対象の学校評価、市民意識調査の「教育指導」の満足度を前回数値より高めます。

達成状況	達成度
児童・生徒一人一台の端末の導入を完了いたしました。	A 達成
児童生徒の意見交流に機器を有効に活用するという項目において、教員が整備された授業支援システムの扱い方を学び、これまでより活用が進んでいることがわかりました。	B 概ね達成
市民意識調査の「教育指導」の満足度について、昨年度より0.12ポイント高めることができました。	B 概ね達成

総合評価・総括
「GIGAスクール構想の実現」の前倒しにより、一人一台の端末をはじめ、周辺機器や高速通信ネットワークの整備が進んだことやICT支援員の配置は、新学習指導要領の示す情報活用能力を含むこれからの時代に必要な力の育成に向けての大きなステップアップになったと考えています。

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 3	教育機会の均等と確保
--------	------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	子どもが教育を受ける環境を均等にするため、学校の適正規模・適正配置を推進します。
---------------------	--

活動目標
より良い教育環境と効果的な学校教育の実現を目指します。
教育環境の均等を推進し、安全・安心な教育環境を目指します。

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合一年目であることを考慮した人的配慮をしました。</li> <li>・統合後の様子をヒアリングや視察、会議により把握し、必要な改善を行いました。</li> <li>・事務職員・養護教諭の加配による業務改善を推進し、子どもに向き合う時間の確保に努めました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての校区で、通学区域審議会で出された懸案事項が解消されているかどうかを視察し、学校や地域の意見をもとに、都市デザイン部や警察と連携しながら、通学路整備を進めました。</li> <li>・市内循環バスの利用を柔軟にしたり、タクシーチケットを活用することで、登下校の不安を解消しました。</li> </ul>

達成目標
統合後の国分小学校を中心に、安心・安全な教育環境を整備します。
統合の効果を検証し、適正規模・適正配置の基準を見直す準備を進めます。

達成状況	達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～5月 通学路の視察及び整備</li> <li>・6月～3月 学校再開後ヒアリング</li> <li>・登下校の不安による欠席や不登校ゼロ</li> </ul>	A 達成
<p>コロナ禍の中、段階を追って新しい学校に慣れることができるよう、取組を推進しました。子ども・保護者・教職員それぞれの立場から問題点はあがっていません。</p>	A 達成

総合評価・総括
<p>「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき、国分東小学校と国分小学校を統合しました。統合1年目がコロナ禍でのスタートとなりましたが、徐々に新しい環境に適應することができるよう、子どもの様子を見守りながら教育活動を進めた結果、混乱もなく1年間を終えることができました。</p> <p>学校の取組みもあり、学校の適正規模・適正配置は一定の成果が得られたので、今後は従来の基準を見直ししながら、子どもが教育を受ける環境を均等にする環境を整えてまいりたいと考えております。</p>

部(局)名	教育部
-------	-----

<b>重点課題 4</b>	<b>安全・安心な教育環境の整備</b>
---------------	----------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	子どもたちが安全で安心な環境で学び、生活できるよう教育環境の質的向上を図ります。
---------------------	--

活動目標
国分中学校グラウンドの整備工事を進めます。
学校体育館への空調設備設置を進めます。

具体的な取組実績
国分中学校グラウンド整備工事について、令和元年度に引き続き、第2期工事を実施しました。
柏原中学校・玉手中学校の体育館へ空調設備を設置するための設計業務実施しました。

達成目標
国分中学校グラウンドの整備工事を完了します。
中学校2校の体育館へ空調設備を設置するための設計業務を行います。

達成状況	達成度
令和3年2月末で国分中学校グラウンド整備工事を終了しました。	A 達成
令和3年3月に体育館空調設置設計業務委託を完了しました。	A 達成

総合評価・総括
<p>令和2年度における目標については達成し、子どもたちがよい環境で学び、また学校生活を送ることができるよう教育環境の向上を図ることができました。</p> <p>今後につきましても、学校環境の整備に向け計画を立て、取組みを進めてまいりたいと考えております。</p>



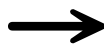
部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 5	誰もが学びたいときに学べる多様な学習機会と気軽に楽しめる生涯スポーツを提供します。
--------	---

全体の達成度

目指すべき方向 (中期的な目標)	<p>①市民の多様な学習環境を整えるため、生涯学習事業の充実に取り組みます。 また、子どもの成長は、家庭や学校生活と併せ、地域社会との関りが大きな影響を与えるため、社会教育団体等との連携を深め、更に青少年の健全育成に努めます。</p> <p>②スポーツによる健康増進を図るため、身近な地域で気軽にスポーツと親しめる機会の充実に努めます。</p>
---------------------	--

活動目標
公民館、図書館、歴史資料館の利便性の向上と教室、蔵書等の充実に努めるなど、子どもから高齢者まで気軽に利用できる生涯学習事業を一層努めてまいります。
新型コロナウイルスの終息次第、速やかな通学時の見守り活動の実施、放課後子ども教室（のびのびルーム）や青少年講座の開催など、少年の健全育成活動を再開できるよう努めるとともに、自然体験施設等の活用による生涯学習の推進に努めます。
体育館やサンヒルススポーツセンター、堅下北スポーツ広場などのスポーツ施設を運営し、市民が身近でスポーツに親しめる場所を提供します。
誰もが気軽に参加できる「スポーツフェスティバルin柏原」や「柏原シティキャンパスマラソン」等を開催するとともに、柏原の自然を活かしたスポーツ教室を開きます。



具体的な取組実績
<p>公民館（本館・分館）の利用案内パンフレットを公共施設に配架し、市民の皆様には貸館案内の周知を図り多くの方に利用して頂けるよう努めました。</p> <p>図書館は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開館及びイベントを開催しました。また、国の緊急事態宣言発出によりやむなく休館した5月7日から20日については、配達件数が521件、配達冊数が1,829冊の予約本の無料宅配サービスを実施しました。</p>
<p>子どもの安全確保のために、745人の登録ボランティアによる通学時の見守り活動を実施しました。</p> <p>しかしながら、コロナ禍の影響により、子どもへの感染拡大を防止する観点から、放課後子ども教室（のびのびルーム）は、23回の実施に留め、青少年講座や自然体験学習施設での野外活動事業は、実施できませんでした。</p>
<p>コロナ禍で緊急事態宣言の発出により、2度の公共スポーツ施設の利用中止があり、どの施設も当初の目標を達成することができませんでした。</p>
<p>コロナ禍の影響により「スポーツフェスティバルin柏原」等のイベントは中止となり、実施することができませんでした。</p> <p>市主催のスポーツ大会及びスポーツ教室につきましては、実施時期をずらして実施しました。</p>



達成目標	達成状況	達成度
<p>公民館や図書館、歴史資料館の利用人数を増やします。</p>	<p>→</p> <p>コロナ禍の影響により、市民文化祭を中止したことや、公民館（本館・分館）の貸館利用制限や休館の措置を取ったことにより、利用者数は、18,959人（R3.2月末現在）にとどまりました。</p>	<p>■</p>
<p>市民意識調査の「青少年健全育成」「生涯学習」の満足度を高めるとともに、子どもたちの学べる機会を増やすため、地元大学との連携を深め、青少年講座を拡充します。</p>	<p>→</p> <p>市民意識調査のうち「青少年健全育成」の満足度は3.36となりました。一方、「生涯学習」の満足度は3.24となりました。青少年講座につきましては、コロナ禍により全て実施できませんでした。</p>	<p>■</p>
<p>市民意識調査の「スポーツ振興」の満足度を高めます。</p>	<p>→</p> <p>コロナ禍の影響により、イベント数やスポーツ大会及びスポーツ教室が減となり、各スポーツ施設及び各スポーツイベント・教室等の全てにおいて、利用者、参加者数が減少しました。</p>	<p>■</p>

総合評価・総括
<p>コロナ禍の影響により、緊急事態宣言発出期間中と3密対策が講じれないイベントについては、安全対策の観点から実施することができませんでした。また、コロナ禍の影響により、子どもへの感染拡大防止を優先させましたことから、今年度予定していた青少年健全育成事業の多くは実施することができませんでした。</p>

※ コロナ禍の影響により、達成状況及び全体の達成度の評価はしていません。